

市町村名		豊見城市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光振興地域環境美化強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	経済建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式」/「ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進		
事業内容	大型商業施設及び宿泊施設などが所在し、観光客が多く訪れる豊崎、瀬長地域の環境美化強化による魅力的な観光地としての景観形成を目的として、環境美化作業(プランターの灌水、植樹樹の除草・防除工)を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,200	6,200	6,200	6,200	6,976
		(b) 予算現額	6,200	6,200	6,200	6,200	6,976
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		6,200	6,200	6,200	6,200	6,976
	B. 執行済額		6,200	6,200	6,200	6,200	6,976
	うち交付金充当額		4,960	4,960	4,960	4,960	5,580
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	植栽樹の管理(除草清掃・防除工)	目標	( 植樹樹の除草・清掃 )	( 植樹樹の除草・清掃 )	( 植樹樹の除草・清掃 )	( 植樹樹の除草・清掃 )	
		実績	植樹樹の除草・清掃	植樹樹の除草・清掃	植樹樹の除草・清掃	植樹樹の除草・清掃	
	プランターの植栽管理(灌水)	目標	( プランターの植栽管理 )	( プランターの植栽管理 )	( プランターの植栽管理 )	( プランターの植栽管理 )	
		実績	プランターの植栽管理	プランターの植栽管理	プランターの植栽管理	プランターの植栽管理	
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬長島、豊崎地区の植栽樹1,385本の抜根除草及び除草剤散布等を行った。</li> <li>・平成25年度に設置したプランター464個(R5.1月にプランター3個が破壊されたので、現在は461個)への灌水等を実施し植栽管理を行った。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		74%	91%	79%	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明		植樹樹・プランター等についてのアンケート調査を、年度末の3月に本市の主要観光地である豊見城市観光プラザ及び沖縄アウトレットモールあしびなー一前で実施した。29名からの回答を集計した結果、79%が「魅力的な観光地の景観である」と回答し、目標値である80%を惜しくも達成できなかった。 前年度からの改善として、灌水回数を増やし、施肥及びヤシの葉や不要になっている添え木を撤去し、美化に努めた。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・アンケート調査の結果について、「植栽の管理状況はどう思いますか。」の質問に「管理が行き届いてない。または、どちらとも思わない」との回答が34%となっているためプランターを適正に管理する必要がある。	・令和4年度は植樹樹の雑草の生育が遅かったことから植樹樹は問題ないと思われるため、プランター内の花の管理について検討する。

**今後の取り組み方針**

プランター内の雑草が養分を吸収し、花に十分に養分がいない可能性があるため、プランター内の除草を行う。令和6年度に向けて、プランターの花をポット式にすることで定期的な植替えが出来ないか検討する。または電飾等に変更できないか検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,976	6,976	5,580	1,396	0



・植樹樹の除草清掃及びプランターへの灌水等に係る委託業務

資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により決定しており、妥当であったと考えられる。 ○予算規模は積算基準等に基づいて編成しており、適正であったと考えられる。 ○費用・用途について委託業務に必要な除草清掃費用、プランター灌水費用を計上しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	瀬長島環境美化強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ア)		
担当部署名	経済建設部 公園緑地課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式」/「ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	瀬長島の環境美化強化による魅力的な観光地としての景観形成を目的として、観光地として利用されている広場等の環境美化作業(清掃・剪定・植栽等)を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額	(a) 当初予算額	10,405				
		(b) 予算現額	10,405				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	10,405				
	B. 執行済額	10,052					
	うち交付金充当額	8,042					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	96.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業計画通りに執行を行った。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	瀬長島における広場等の環境美化実施	目標	(清掃・剪定・植栽等) ( ) ( ) ( ) ( )				
		実績	(清掃・剪定・植栽等) 実施				
	目標	( ) ( ) ( ) ( )					
実績							
達成状況説明	瀬長島における広場等の清掃・剪定・植栽等を行った。 【内訳】 ・除草、草抜、剪定処理量 55,330kg ・ゴミ処理量 5,070kg ・屋外トイレ清掃作業(サンセット広場、第一駐車場) 364回実施 ・清掃作業(避難路) 52回実施 ・清掃作業(足洗い場) 7回実施 ・清掃作業(コインシャワー) 24回実施 ・清掃作業(子宝岩) 12回実施						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	来島者に対し、観光地としてふさわしい景観形成と感ずるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	目標	( ) ( 80%以上 ) ( ) ( ) ( )				
		実績		84%			
	目標	( ) ( ) ( ) ( ) ( )					
	実績						
進捗状況説明	来島者へのアンケート調査(満足度)を行い、瀬長島は観光地としてふさわしい景観(植栽管理・清掃等)となっていると感じるとの回答が84%となり、成果目標を上回った。						

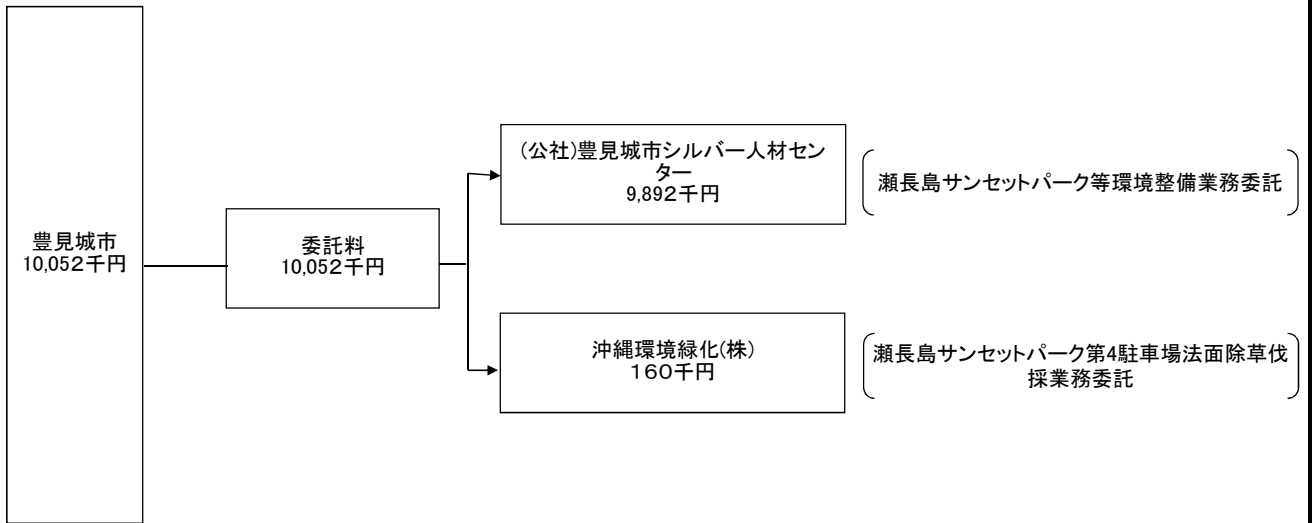
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症収束後の来島者の増加や2024年1月竣工予定のホテルコンドミニアム建設による観光地環境の変化に注視が必要。</p>	<p>・除草、草抜、剪定処理量やゴミ処理量の推移、最適な清掃回数等の内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。</p>

**今後の取り組み方針**

・清掃委託業者への聞き取りを行いながら、継続的な環境美化強化による魅力的な観光地としての景観形成に向けた最適な清掃回数等の把握に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,052	10,052	8,042	2,010	0



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号により随意契約しており、妥当であったと考えている。 ○予算は、委託業務等積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考えられる。 ○費目、用途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部署名	経済建設部 公園緑地課	事業実施(予定)年度	令和4~令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式」「ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	豊崎海浜公園・美らSUNビーチで与根漁港と連携したマリンメニュー(パラセーリング、シュノーケル等)を設けるための整備等を行い、豊崎海浜公園(美らSUNビーチ)への来園者数を増やし、観光振興及び地域の活性化を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,167				
		(b)予算現額	1,661				
		(c)増減額(b-a)	▲506				
		(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)		1,661				
	B. 執行済額		1,661				
	うち交付金充当額		1,328				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		入札に伴う執行残が生じたため、3月補正にて506千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	設計業務(航路浚渫)	目標	( 設計業務の実施 )	( )	( )	( )	
		実績	設計業務の完了				
	海浜公園指定管理者等の関係機関との調整	目標	( 調整の実施 )	( )	( )	( )	
		実績	調整の実施				
達成状況説明	航路浚渫の設計業務を実施した。 海浜公園指定管理者等の関係機関と月1回以上の調整と情報交換を実施した。 【調整内容】 ・航路幅員、航路水深等の設計条件を決定するため、関係機関と航行する船舶や現場状況について調整した。 ・汚濁防止対策についての調整した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値( )	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R5年度)
	設計業務(航路浚渫)の完了	目標	( )	( 設計業務(航路浚渫)の完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R5成果目標】 ビーチ利用者人数:20,000人	目標	( )	( )	( )	( )	( 20,000人 )
		実績					
	進捗状況説明	当初事業計画通り、設計業務(航路浚渫)を完了することができた。					

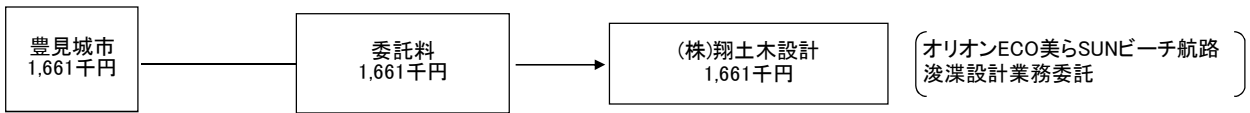
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度で作成した設計報告書をもとに、次年度事業を実施予定。事業を円滑に実施できるよう、必要な許可申請や、関係機関との調整を継続する必要がある。	豊崎海浜公園指定管理者・与根漁協等の関係機関と調整を行い、密に連携をとっていく。

**今後の取り組み方針**

豊崎海浜公園・美らSUNビーチで与根漁港と連携したマリンメニューを設けるための航路浚渫工事を行うことで、豊崎海浜公園への来園者数を増やし、ビーチの魅力向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,661	1,661	1,328	333	0



資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札にて委託業者を選定しているため妥当である。 ○予算は、設計業務等積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考えられる。 ○費目、用途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	豊見城市観光PR事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	総務企画部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	北海道、関西圏、東京圏の大都市圏を中心に豊見城市の物産や文化等のプロモーションを展開することで、「沖縄県豊見城市」の魅力や認知度を高め、豊見城市への誘客を促進し、観光消費拡大を図ることを目的とする。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(旅費)						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	20,649				
		(b)予算現額	20,071				
		(c)増減額(b-a)	▲578				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	20,071				
	B.執行済額		19,712				
	うち交付金充当額		15,769				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		98.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		旅費について、ホテルパック等の利用により当初予定していたものよりも安価で済んだため12月補正にて予算578千円減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	首都圏及び地方大都市にて物産展等を行う。		目標 ( 実施 )	( )	( )	( )	
			実績	実施			
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成 状況 説明	札幌のショッピングモールにて2日間、大阪の大型ショッピングモールにて2日間、横浜の駅直結型複合商業施設にて3日間の計3回に分けて、物産及び本市PR展を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R5年度)
	実施場所における来場者数 札幌 5,000名以上		目標 ( )	( 5,000名以上 )	( )	( )	( )
			実績	1,226名			
	大阪 5,000名以上		目標 ( )	( 5,000名以上 )	( )	( )	( )
			実績	2,540名			
	首都圏 7,500名以上		目標 ( )	( 7,500名以上 )	( )	( )	( )
			実績	5,343名			
	【R5成果目標】 令和5年度入域観光客数710万人		目標 ( )	( )	( )	( )	( 710万人 )
			実績				
	進捗 状況 説明	実施会場において集計をした結果、札幌会場で1,226人、横浜会場で5,343人、大阪会場で2,540人の来場があったが、各会場において、目標来場者数を下回る結果となった。					

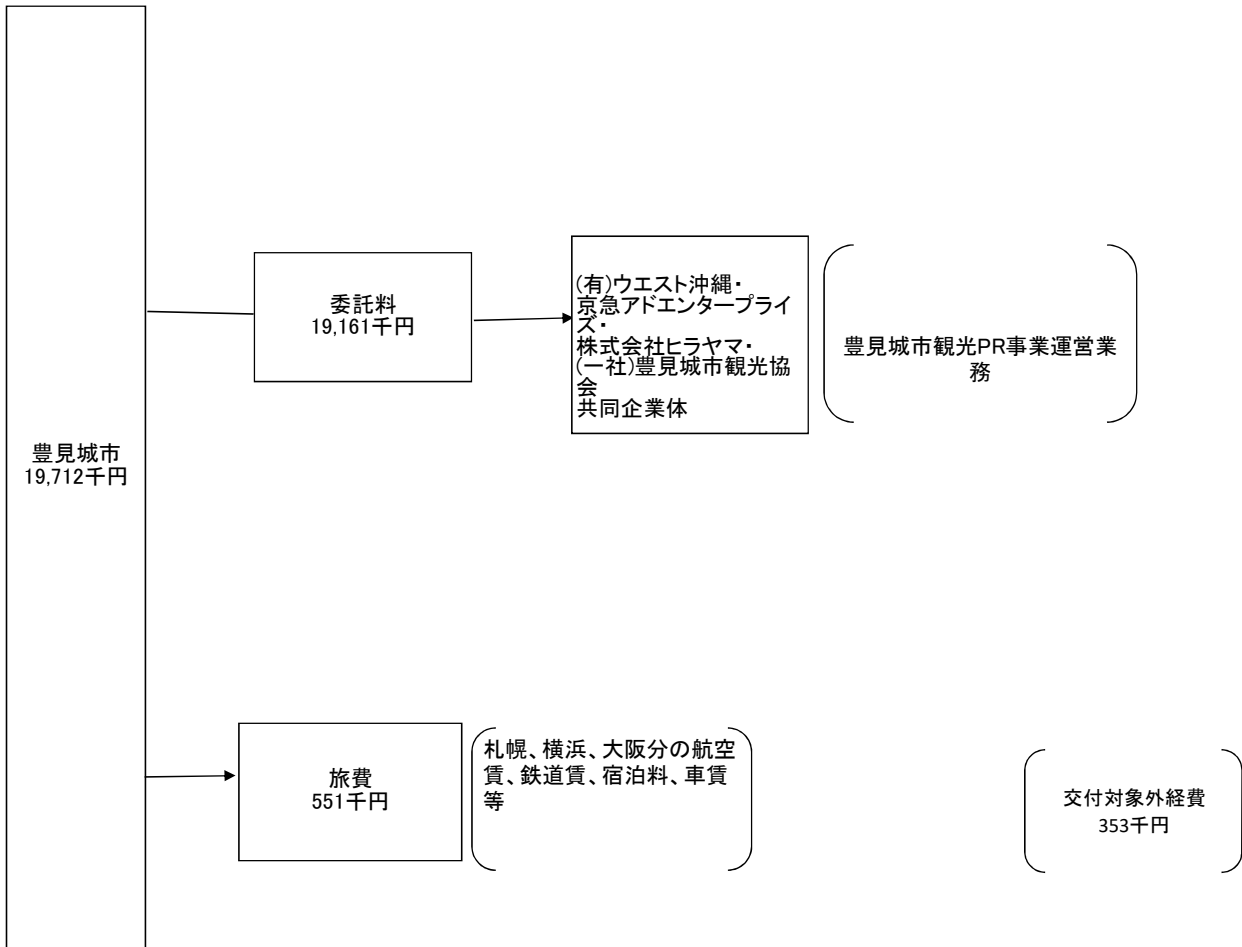
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(実施会場ごとの来場者数) 横浜会場は、駅直結型の複合商業施設であったため、比較的多くの来場者が訪れた。札幌、大阪会場は大型ショッピングモールで実施したものの、当日の天候不良なども影響し、想定していたよりも来場者数が少ない結果となった。目標には届かなかったが、実施したアンケートでは本市について「初めて知った」「行ってみたい」等の声を頂いた。	(実施会場ごとの来場者数) 物産及びPR展について、来場者数を増やすため誘客の図れる魅力的なイベントの開催と、人流の多い場所・時間帯について検討していきたい。

**今後の取り組み方針**

本事業では物産及びPR展の実施の他にも、京急電車内のトレインジャックや品川駅構内へのスーパーフラッグを掲出し、市のPRにつなげることが出来た。次年度以降も、東京圏において、市特産品等の物産展を行うとともに、SNS等の媒体で本市の景勝地及び特産品のPR広告等を併せて行うことにより、「とみぐすく市」の認知度向上を図り、多くの方が本市での観光を来沖の目的としてもらえるように、継続的に本市のPRを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
20,065	19,712	15,769	3,943	353



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		豊見城市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部署名	こども未来部 保育こども園課	事業実施(予定)年度	平成26~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	公立・法人認定こども園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育・教育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,259	5,729	3,111		6,267
		(b) 予算現額	5,259	5,729	738		2,030
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 2,373		▲ 4,237
		(d) 繰越額	0	0	0		0
	A. 計(b+d)		5,259	5,729	738		2,030
	B. 執行済額		5,131	5,035	0		852
	うち交付金充当額		4,104	4,028	0		681
	次年度繰越額		0	0	0		0
	執行率(%) (B/A)		97.6%	87.9%	0.0%	#DIV/0!	42.0%
予算の状況の説明		臨床心理士1名が病気療養により令和4年9月末で退職したことによる執行済額との差額発生。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	臨床心理士配置:1名(就学前)		目標 ( 2人 )	( 1人 )	( )	( 1人 )	
			実績 2人	0人		1人	
		目標 ( )	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明		令和2、3年度は応募が無く、臨床心理士を配置することができなかったが、令和4年度は4月から臨床心理士を1名配置することができた。しかし体調不良を理由に9月末で退職となった。その後臨床心理士を公募するも応募はなく令和4年度の実績は4月~9月の間での事業実施となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ( )	( 80% )	( )	( 80%以上 )	( )
			実績			保護者:84.4% 保育士:78.3%	
	【参考指数】「特別な支援を必要とする子」への対応や保護者への相談・支援件数		目標 ( )	( 200件 )	( )	( 200件 )	( )
		実績	0件		386件		
進捗状況説明		本事業実施後のアンケートにより、「臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減された」と回答する保護者が84.4%、保育士が78.3%となった。また、「特別な支援を必要とする子」への対応や保護者への相談・支援件数については、当初目標を大幅に上回り386件となった。アンケートの結果、保育士の満足度が78.3%にとどまっているので、意見を分析して今後の満足度向上につなげたい。					

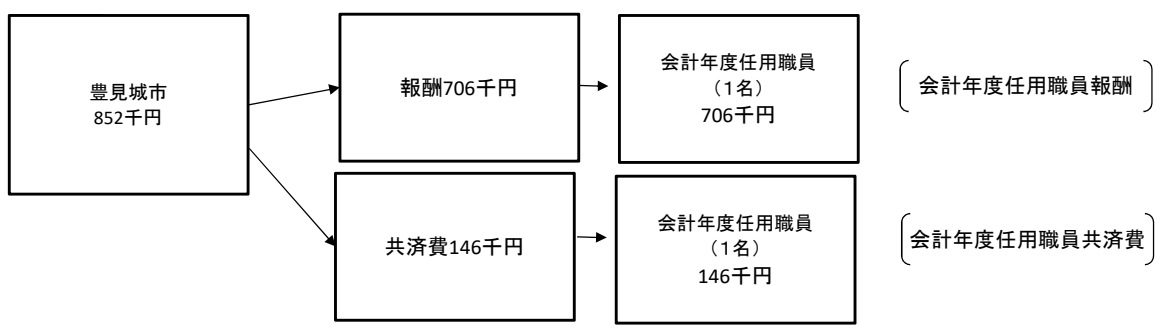
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①巡回相談及び個別の相談件数も毎年1割以上増えており、臨床心理士(嘱託職員)2名体制で対応する事が厳しい状況である。 ②気になる子とのかかわり方及びその保護者への声かけが難しいとする保育士の相談が増えている。	①安定的に事業を実施するために臨床心理士(正規職員)の体制見直し、実施方法の見直しをするなど、巡回相談や個別相談の円滑な実施を検討する。 ②ティーチャーズトレーニング研修など関連業務を活用し、保育士の質の向上に繋げるなど、本事業関係保育士や保護者の不安解消を検討する。

**今後の取り組み方針**

- ①臨床心理士(会計任用制度職員)も含めた巡回相談事業の体制強化を図る。  
 ②検査技術講習への研修を組んで臨床心理士のスキルアップや質の向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
852	852	681	171	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・臨床心理士の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。 ・予算規模は、臨床心理士の人件費として最低限必要な報酬、社会保険料の支出に限定されており、適正である。 ・費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	放課後児童クラブ利用支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-イ		
担当部署名	こども未来部 こども応援課	事業実施 (予定)年度	令和2~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・若者の育成支援		
事業内容	ひとり親への減免を行っている放課後児童クラブへ一定額の支援を行うことにより保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      □委託      ■補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,644	5,112	7,397		
		(b) 予算現額	4,644	5,658	6,561		
		(c) 増減額(b-a)	0	546	▲ 836		
		(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計(b+d)		4,644	5,658	6,561		
	B. 執行済額		4,308	5,398	5,517		
	うち交付金充当額		3,446	4,318	4,413		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		92.8%	95.4%	84.1%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初の対象者見込数を実績が下回ったため、3月補正で予算836千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者へ利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。	目標	( 129名 )	( 185名 )	( 182名 )	( )	
	対象人数:182人分	実績	135名	177名	174名		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	ひとり親世帯対象者174名(目標より8名減)に対し、市内児童クラブ(33クラブ)が利用料減免を行った。それにより、5,517千円の補助を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		98%	97%	95.5%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	対象となる児童の保護者174人にアンケートを実施した結果、131人から回答があり補助を受けたことで負担軽減となったとの回答が95.5%となり成果目標を上回った。					

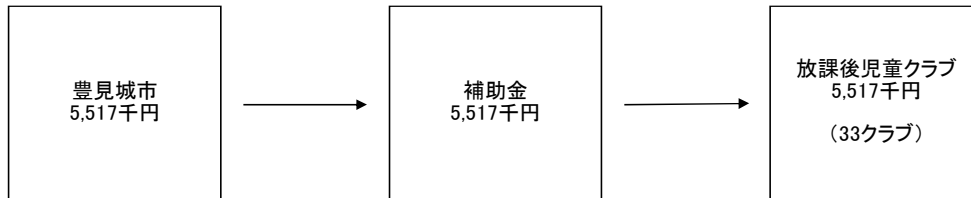
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	年度途中で減免の資格要件を喪失した場合、保護者自らクラブへ資格喪失届の提出が必要であるため、クラブから保護者へ対応の周知徹底が必要である。	市とクラブで連携した資格要件のチェック体制を整え、継続的かつ円滑に事業を行っていく。

**今後の取り組み方針**

児童クラブの連絡会にて事業の周知・情報交換を行い、継続的かつ円滑に事業を実施する。  
また、HPにてひとり親世帯に対するの児童クラブ減免制度の周知を図り、補助を必要とする者への周知徹底を促していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,517	5,517	4,413	1,104	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、当該事業の要綱に規定している児童クラブであり、妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は過去の実績を基に積算されており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である各児童クラブに対する補助額は、保育料の1/2以下であること、また、保護者の減免額分を補助額として負担しているのが妥当だと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については精算段階で目的に即しているか確認した。

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	障害児保育事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部署名	こども未来部 保育こども園課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、受入れ体制の整備ができるよう、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		35,800				
			54,000				
			18,200				
			0				
	B. 執行済額	46,338					
	うち交付金充当額	37,070					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	85.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	当初は加配保育士配置数を49名として見込んでいたが、見込みよりも障害児の数が多く、加配保育士の増員が必要となったため、18,200千円の増額を行った。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	加配保育士配置数 79名	目標	( 79人 )	(            )	(            )	(            )	
		実績	65人				
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	
実績							
達成状況説明	・保育士不足の影響により、加配保育士の配置が目標より低くなった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(            )	( 80% )	(            )	(            )	(            )
		実績		97%			
	【参考指標】 ・加配保育士の配置割合 市内障害児(対象児)に必要な加配保育士等の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	目標	(            )	( 85% )	(            )	(            )	(            )
		実績		86.67%			
進捗状況説明	・対応への満足度については、令和5年2月に保護者に対してアンケートを実施した結果、36名から回答を得られ、そのうち97%が満足と回答した。 ・市内の障害児判定の園児に対する加配保育士の配置割合は、86.67%であった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(加配保育士の対応への満足度) ・加配対象児童として判定を受けた保護者の不安感を、加配配置により拭うことが目標達成の要因と考えられる。	(加配保育士の対応への満足度) ・対象児童は単年で対象から外れることは少なく、継続して援助が必要となることから、保護者の評価も厳しくなるものと考えられる。そのため、市として保育体制や内容の向上も図っていく必要がある。
	(加配保育士の配置割合) ・配置目標はかろうじて達成しているが、保育士不足の影響もあり配置数が伸び悩んでいる。	(加配保育士の配置割合) ・他の保育士確保対策とも連携し、保育士の十分な確保に努め、十分な数の加配保育士を確保する必要がある。

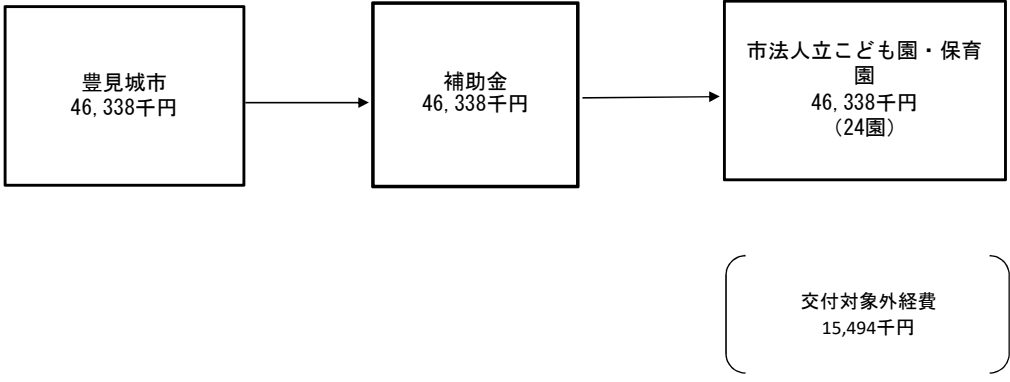
**今後の取り組み方針**

(加配保育士の対応への満足度)  
・アンケート結果からは、保護者の安心感につながり成果目標を達成できたと思うが、今後は高い満足度を維持していくために、加配保育士向けの障害児保育支援者育成事業(ティーチャーズトレーニング)を実施し、障害児保育の課題整理や改善策への理解を深めていく。

(加配保育士の配置割合)  
・保育士不足も影響し、100%の配置とはいかなかったが、引き続き保育士確保のため、保育士試験対策講座事業や保育士宿舎借り上げ支援事業を継続実施することで、配置割合の向上を目指していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
61,832	46,338	37,070	9,268	15,494



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○豊見城市障害児保育事業実施要綱に基づき、市内認可園を対象としており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、過去の実績を基に加配保育士数を積算しており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○対象児童受入のための人件費のうち1人あたりの上限金額を設定し補助しているため妥当だと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○用途については精算段階で検査を実施しており、目的を実施するために必要なものであったと判断した。

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	特別支援教育支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある 学校づくりの推進		
事業内容	小中学校に対し特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	67,252	52,975	67,157	74,124	73,250
		(b) 予算現額	36,369	42,226	44,977	66,095	60,758
		(c) 増減額(b-a)	▲ 30,883	▲ 10,749	▲ 22,180	▲ 8,029	▲ 12,492
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		36,369	42,226	44,977	66,095	60,758
	B. 執行済額		35,643	36,238	41,213	62,046	57,833
	うち交付金充当額		28,514	28,990	32,970	49,636	46,266
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.0%	85.8%	91.6%	93.9%	95.2%
予算の状況の説明		当初計画では特別支援教育支援員を31人雇用予定であったが、年度当初欠員が生じてスタートした事と、年度途中で産休・病休等により未配置の状況もあったことから、報酬及び期末手当等について12,492千円余の不用額が生じた。					
<b>活動目標 (指標) 及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	特別支援教育支援員の配置:29人	目標	( 30人 )	( 30人 )	( 30人 )	( 29人 )	
		実績	29人	26人	29人	30人	
	特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人	目標	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	( 1人 )	
実績		1人	0人	1人	1人		
達成状況説明	特別支援教育支援員については、欠員や育休等で未配置の箇所もあったが、最終的には30人任用することができた。特別支援教育コーディネーターについては、年度当初より人材確保し配置することができた。						
<b>成果目標 (指標) 及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (R1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(    )
		実績	82.60%	85%	81%	80%	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	特別支援教育支援員の支援を受けている児童生徒119人の保護者にアンケートを実施した結果、40人の保護者より回答があった。特別支援教育支援員の配置により児童生徒の成長に対し「大変満足している」が32.5%(13人)、「概ね満足」が47.5%(19人)となり、80%(32人)の方が効果を実感いただいている結果となった。						

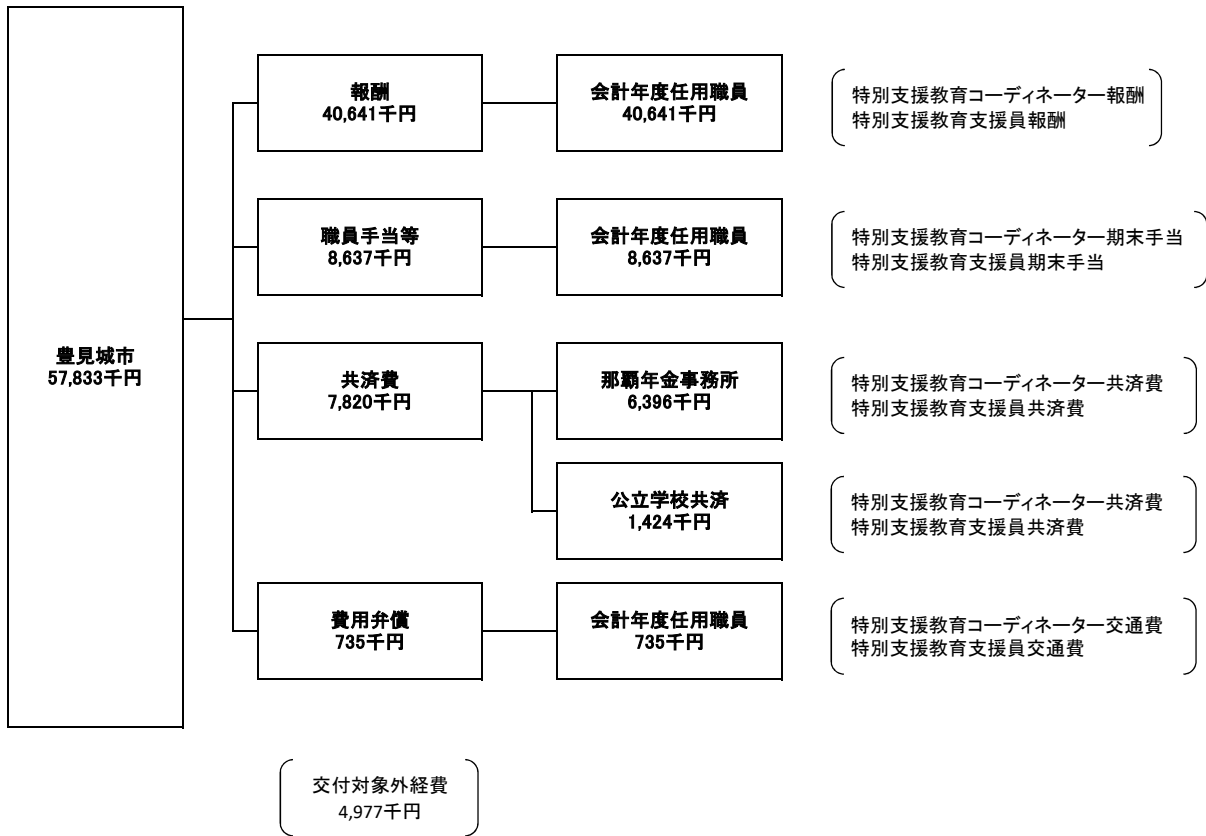
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員の配置に対する満足度は目標値を達成しているが、不満をもっている保護者の意見もあり、人材確保と同時に保護者への対応について検討を要する。</li> <li>・特別な支援を必要とする児童生徒の地域小中学校への就学希望が増えており、進学・進級先等について保護者と十分協議する必要がある、今後も支援員の必要性が増してくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員の資質向上のため、学校と連携し、支援員連絡会(研修会等)を実施し、児童生徒の特性に合った支援ができるようにする。</li> <li>・支援員の確保が年々難しくなっているため、年度当初より計画とおりの支援員を確保することができるよう、計画的に募集を進める。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

本事業の更なる充実を図るため、特別支援教育支援員のスキル向上のための研修会を引き続き実施するとともに、年度当初から特別支援教育支援員を配置できるよう求人案内を従前の方法に加え、WEB等を活用した新たな求人方法を取り入れ幅広く採用情報を提供していくこととする。また、人事評価制度と昇給制度を活用しながら有能な特別支援教育支援員の継続確保に努める。  
 さらに、令和5年度には正規職員として公認心理師を採用したことにより、各校校内委員会への関りを強化し、児童生徒への対応について学び、スクールソーシャルワーカー、福祉部局とも連携し支援体制の強化を図っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
62,810	57,833	46,266	11,567	4,977



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援教育支援員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。 ○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	学力向上サポート事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
事業内容	小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		23,192	22,909	26,579	28,631	34,653
			20,720	22,392	22,561	25,550	31,429
			▲ 2,472	▲ 517	▲ 4,018	▲ 3,081	▲ 3,224
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	20,014	21,614	22,103	24,439	30,114
		うち交付金充当額	16,011	17,291	17,682	19,551	24,091
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	96.6%	96.5%	98.0%	95.7%	95.8%
		予算の状況の説明	当初計画では学力向上推進補助員を11人雇用予定し採用に至ったが、年度途中で退職者が出て欠員期間があった事から、欠員分の報酬等において3,000千円余の不用額が生じた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	学力向上推進補助員配置数:11人 小学校:8人 中学校:3人	目標	( 小学校:8人 中学校:3人 )	( 小学校:8人 中学校:3人 )	( 小学校:8人 中学校:3人 )	( 小学校:8人 中学校:3人 )	
		実績	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	
	全国標準学力調査の実施 小1~中2:年1回	目標	(                    )	(                    )	(                    )	( 1回 )	
		実績				小1~中2:1回	
学力調査の実施 中3:年1回	目標	(                    )	(                    )	(                    )	( 1回 )		
	実績				1回		
	達成状況説明	年度途中で1人退職者が出たが、その後復職したことで、各校へ配置する事ができた。 小学校1年生から中学校2年生までを対象とした全国標準学力調査を実施した。 中学校3年生を対象とした学力調査を実施した。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (R1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:+2.8ポイント 中学校:+0.0ポイント	目標	( 小:+2.8 中:+1.9 )	( 小:+2.6 中:+1.0 )	( 小:+2.7 中:+0.6 )	( 小:+2.8 中:+0.0 )	(                    )
		実績	小:+2.9 中:-0.7	小:+3.2 中:-1.2	小:+2.0 中:-2.6	小:+2.5 中:+0.5	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
	実績						
	進捗状況説明	小学校 小学5、6年生を対象に実施した学力到達度調査において県平均60.1ポイントに対し市平均が62.6ポイントとなり+2.5ポイント市平均が県平均を上回った。 中学校 中学1、2年生を対象に実施した学力到達度調査では、県平均47.4ポイントに対し市平均が47.9ポイントとなり+0.5ポイント市平均が県平均を上回った。					

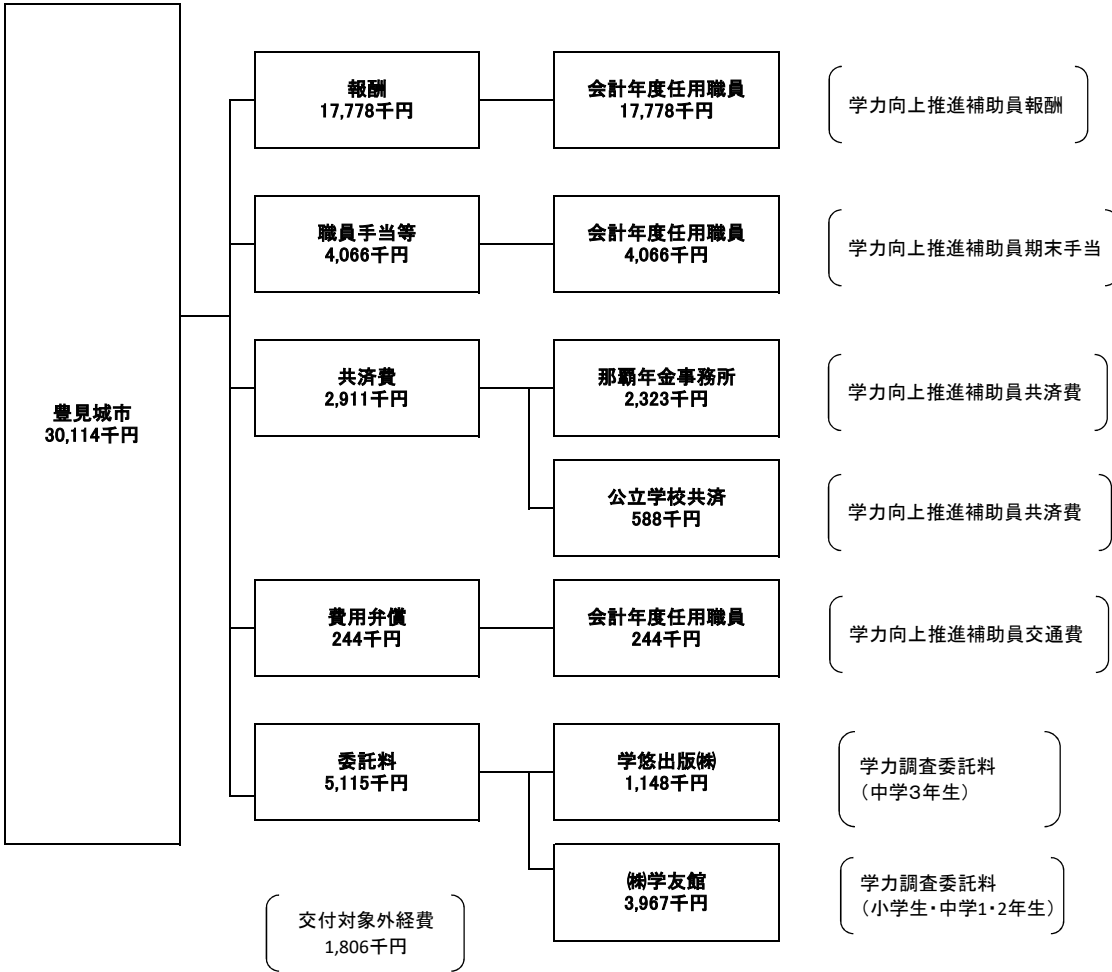
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	各中学校の状況を確認すると、教科によって県平均を上回るものと下回るものがあり、学力定着率が低い教科の底上げが課題である。しかし、令和2年度、令和3年度は県平均を下回っていた調査結果が、令和4年度においては県平均を+0.5ポイント上回っていることから、継続した授業運営の補助が一定程度効果を発揮していると考えられる。 一方、県においても到達度調査結果が例年より低くなっていることから、コロナ禍における外部環境の変化が続いていることも考えられる。	・授業における個々の児童生徒のサポートや授業内容について教諭との連携を行うことにより、スムーズな授業運営の補助ができるよう補助員のスキルの向上を図る必要がある。 ・個に応じた学習支援についての情報共有を、学年会や教科会を通して行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

・年度当初の学力向上推進補助員配置計画段階において、各校の学力定着度を勘案して補助員の配置を行い、スムーズな授業補助へつなげる。  
・教諭との授業連携をスムーズに行えるよう、教育委員会が進める学力向上施策の情報共有を図るとともに、個々に応じた学習支援を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
31,920	30,114	24,091	6,023	1,806



資金の流 れ、費 目・ 使途の 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学力向上推進補助員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約しており、賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	スクールソーシャルワーカー配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
事業内容	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境(家庭や友人関係等)の改善のためスクールソーシャルワーカーを配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	5,901	5,900	6,998	7,812	7,902
		B. 執行済額	5,492	5,900	6,162	5,855	6,214
		うち交付金充当額	▲ 409	0	▲ 836	▲ 1,957	▲ 1,688
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	5,492	5,900	6,162	5,855	6,214	
		5,443	5,706	6,003	5,527	5,864	
		4,354	4,564	4,802	4,421	4,691	
		0	0	0	0	0	
		99.1%	96.7%	97.4%	94.4%	94.4%	
予算の状況の説明	スクールソーシャルワーカー1名の勤務体制が当初、週5日と想定するも個人の事情により、週4日勤務でのスタートとなった。年度末においては、その勤務体制も厳しくなり、週2日勤務となったことから、予算1,668千円を減額した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	スクールソーシャルワーカー3人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校3校を巡回する。	目標	( 3人 )	( 3人 )	( 3人 )	( 3人 )	
		実績	3人	3人	3人	3人	
目標	(    )	(    )	(    )	(    )			
実績							
達成状況説明	3人のスクールソーシャルワーカーを採用することができ、市内小中学校に巡回配置することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	支援対象ケース改善率:48.4%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	目標	(    )	( 39.5% )	( 40.1% )	( 48.4% )	(    )
		実績		61.74%	51.9%	70.6%	
	目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )	
実績							
進捗状況説明	支援対象件数180件中、問題が改善された件数67件、状況が好転した件数60件となり改善率70.6%で目標達成となった。						

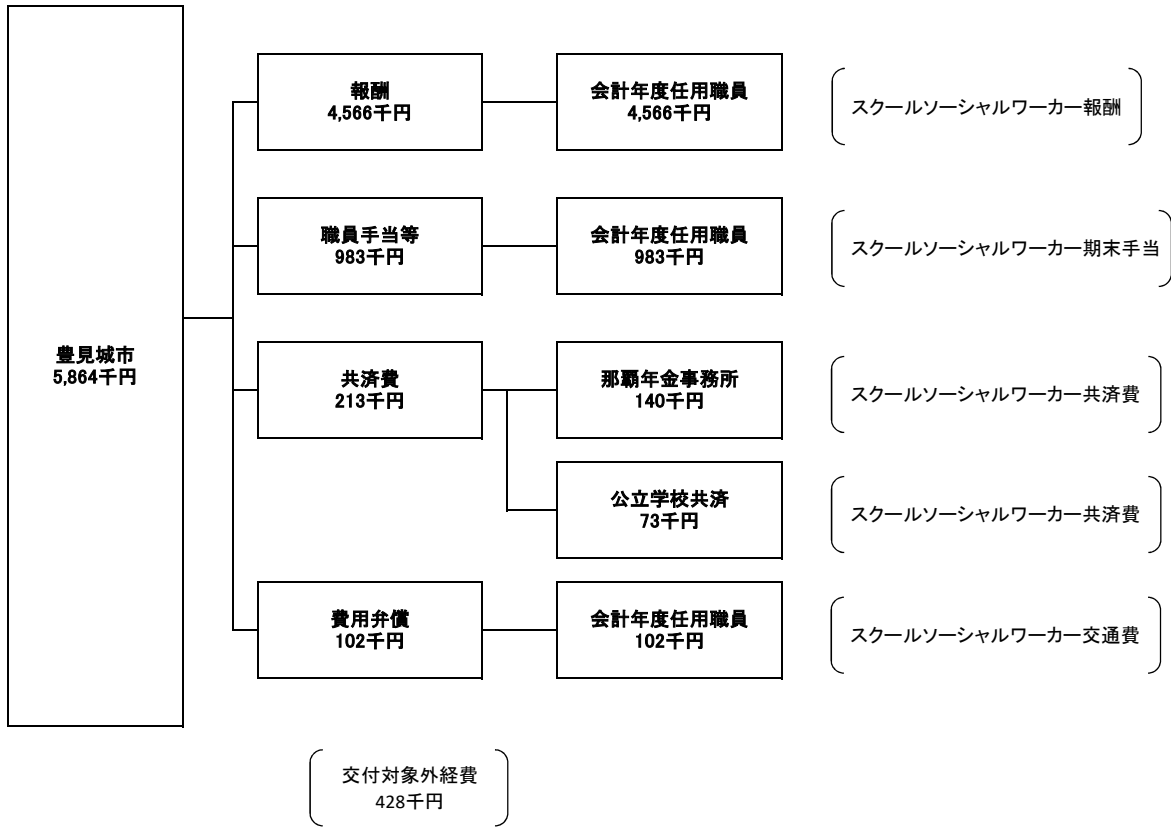
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・年々、不登校児童生徒への支援対象件数も増加傾向にあり、個々のアセスメント(見立て)と連携強化が重要となっており、引き続き支援体制を維持していく必要がある。</p>	<p>・スクールソーシャルワーカーを継続雇用し、長引くケースへの支援継続を図る。          ・多種多様なケースに対応するため、スクールソーシャルワーカーの質向上に向けた研修などの機会を設けることを検討する。</p>

**今後の取り組み方針**

支援対象件数が増加傾向にあることから、児童・生徒、家族の抱える問題に対するアプローチを学ぶ研修会や、庁内関係部署との情報共有を図り、スクールソーシャルワーカーが活動しやすい環境を整えていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,292	5,864	4,691	1,173	428



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○スクールソーシャルワーカーの採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。            ○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。            ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	不登校等対策支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
事業内容	教室に入ることのできない生徒に対する別室支援を行うため中学校へ学習支援員を配置するとともに、不登校の児童生徒の居場所として設置している適応指導教室へ学習支援員を配置する。また、不登校対策として小学校へ登校支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		14,139	10,049	15,112	16,485	16,945
			13,258	9,550	11,394	14,720	12,448
			▲ 881	▲ 499	▲ 3,718	▲ 1,765	▲ 4,497
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	12,931	9,456	11,175	13,851	11,568
		うち交付金充当額	10,344	7,565	8,940	11,080	9,254
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	97.5%	99.0%	98.1%	94.1%	92.9%
		予算の状況の説明	学習支援員については、3人の配置を計画していたが、当初計画どおり配置ができなかった。また、登校支援員については、1校につき未配置の期間があった。それらの事情から、不用額4,497千円が生じた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	学習支援補助員配置数:3人 中学校:1人 適応指導教室:2人	目標	( 中:1人 適:2人 )	( 中:1人 適:2人 )	( 中:1人 適:2人 )	( 中:1人 適:2人 )	
		実績	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:0人 適:2人	
登校支援員配置数:8人 市内8小学校に1人ずつ配置	目標	( 4人 )	( 8人 )	( 8人 )	( 8人 )		
	実績	4人	8人	8人	8人		
	達成状況説明	適応指導教室に配置する学習支援補助員及び登校支援員については概ね計画どおり配置が行えた。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	目標	(    )	( 20%以上 )	( 20%以上 )	( 20%以上 )	(    )
		実績		38.16%	23.53%	15.08%	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
実績							
	進捗状況説明	小学校では不登校児童90人に対し8人が登校復帰した。また、中学校では不登校生徒162人に対し30人が登校復帰した。					

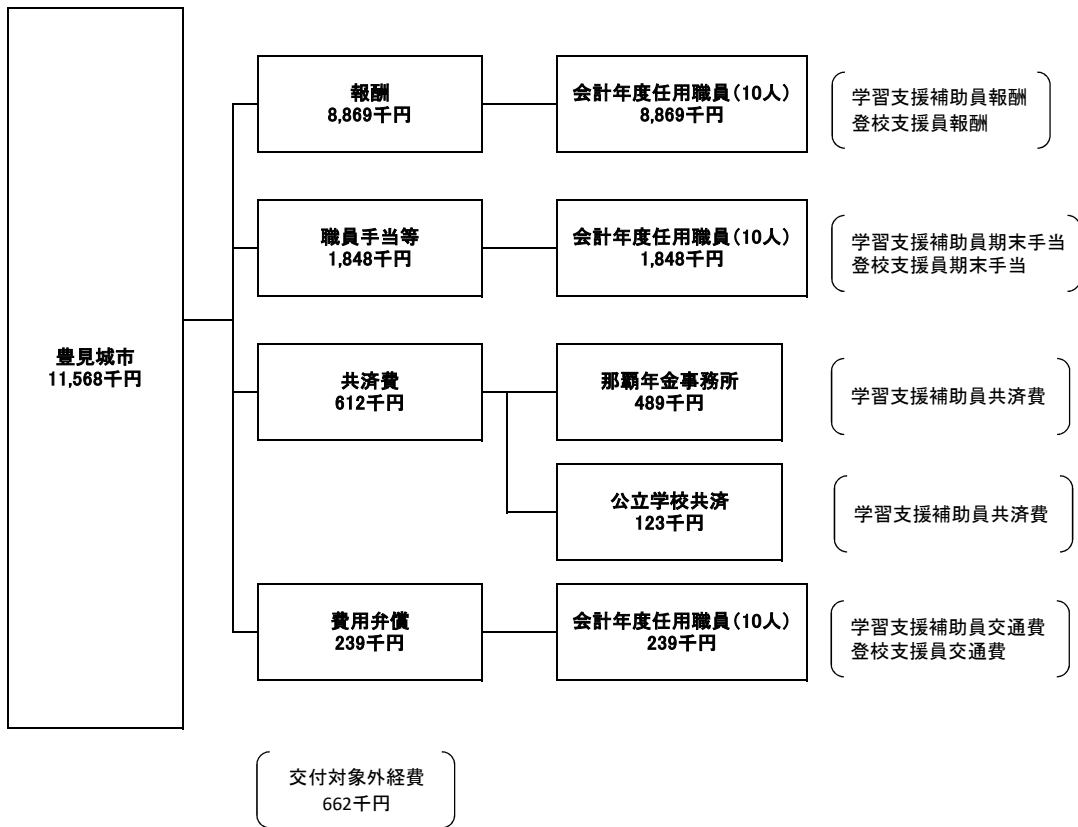
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	不登校児童生徒が増加している中、コロナ禍による影響もあったため、登校復帰率も低下傾向にある。	計画どおりの支援員配置の取り組みや切れ目のない支援を行うことで、不登校児童生徒復帰率の改善を図る。

**今後の取り組み方針**

不登校対策は初期段階から切れ目なく継続して支援する必要があることから、支援員の継続雇用へとつながるよう学校側と連携し働く環境の充実に努めるとともに、支援員採用に際してはWEB等を活用するなど幅広い層へ働きかけるよう取り組む。また、人事評価制度や昇給制度を活用しながら有能な人材を継続して雇用できるよう取り組む。  
 また、令和5年度には正規雇用で公認心理師を雇用したことから、登校支援員のサポート支援も強化していく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,230	11,568	9,254	2,314	662



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援補助員や登校支援員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。 ○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	英語教育推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	英語への興味・関心を高め、英語の学力向上に繋げるため、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		20,296	21,975	26,996	28,096	28,771
			20,296	21,423	25,962	26,663	26,383
			0	▲ 552	▲ 1,034	▲ 1,433	▲ 2,388
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	20,232	20,703	24,991	24,128	26,216
		うち交付金充当額	16,185	16,562	19,993	19,302	20,973
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.7%	96.6%	96.3%	90.5%	99.4%
		予算の状況の説明	小学校への日本人英語講師派遣について、コロナウイルス感染症の影響により予定していた授業コマ数が実施できず委託料に一部不用額が生じた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	外国人英語講師(ALT)の配置:3人 (市内中学校1人ずつ)	目標	( 3人 )	( 3人 )	( 3人 )	( 3人 )	
		実績	3人	3人	3人	3人	
日本人英語講師(JTE)の派遣:小学校8校	目標	( 8校 )	( 8校 )	( 8校 )	( 8校 )		
	実績	8校	8校	8校	8校		
	達成状況説明	外国人英語講師については、年度当初より計画どおり3人の配置ができた。 日本人英語講師派遣については、計画どおり市内小学校全8校に対し講師を派遣することができた。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	<b>【小学校】</b> 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上	目標	(    )	( 73% )	( 73% )	( 80% )	(    )
		実績		83.06%	79.60%	84.80%	
	<b>【中学校】</b> 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +0.0ポイント以上	目標	(    )	( +4.2ポイント )	( +2.5ポイント )	( +0.0ポイント )	(    )
実績			-0.9ポイント	-4.1ポイント	-1.1ポイント		
	進捗状況説明	小学校でのアンケート調査では、「英語の授業が楽しい」とする回答が最も多く、英語の授業の充実が感じられる。 一方、中学校では県平均正答率との差にひらきがあり、県平均を上回っている中学校もあることから、到達度にバラつきがみられる。 (中学校) 県平均:46.15ポイント 市平均:45.05ポイント 差1.1ポイント					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>小学生 日本人英語講師の派遣により英会話を中心としたより実践的な授業展開により児童の英語に対する興味・関心が高まってきている。</p> <p>中学生 中学1年生・2年生共に県平均との格差は小さくなっているが、令和3年度以前のコロナ感染拡大による臨時休校等による学習環境の変化の影響から学力低下が懸念される。</p>	<p>小学生 教科化となった高学年を中心に英語講師を配置することで、日常英会話に触れる機会を増やし、中学校入学後の学力向上へと繋げる。</p> <p>中学生 ALTとの英会話コミュニケーションの時間を今までよりも確保するなど、授業の進行方法にも工夫を入れ、英検等の各種検定についても積極的な受検を促すなど全体的な学力向上に向けた取り組みが必要と考える。</p>

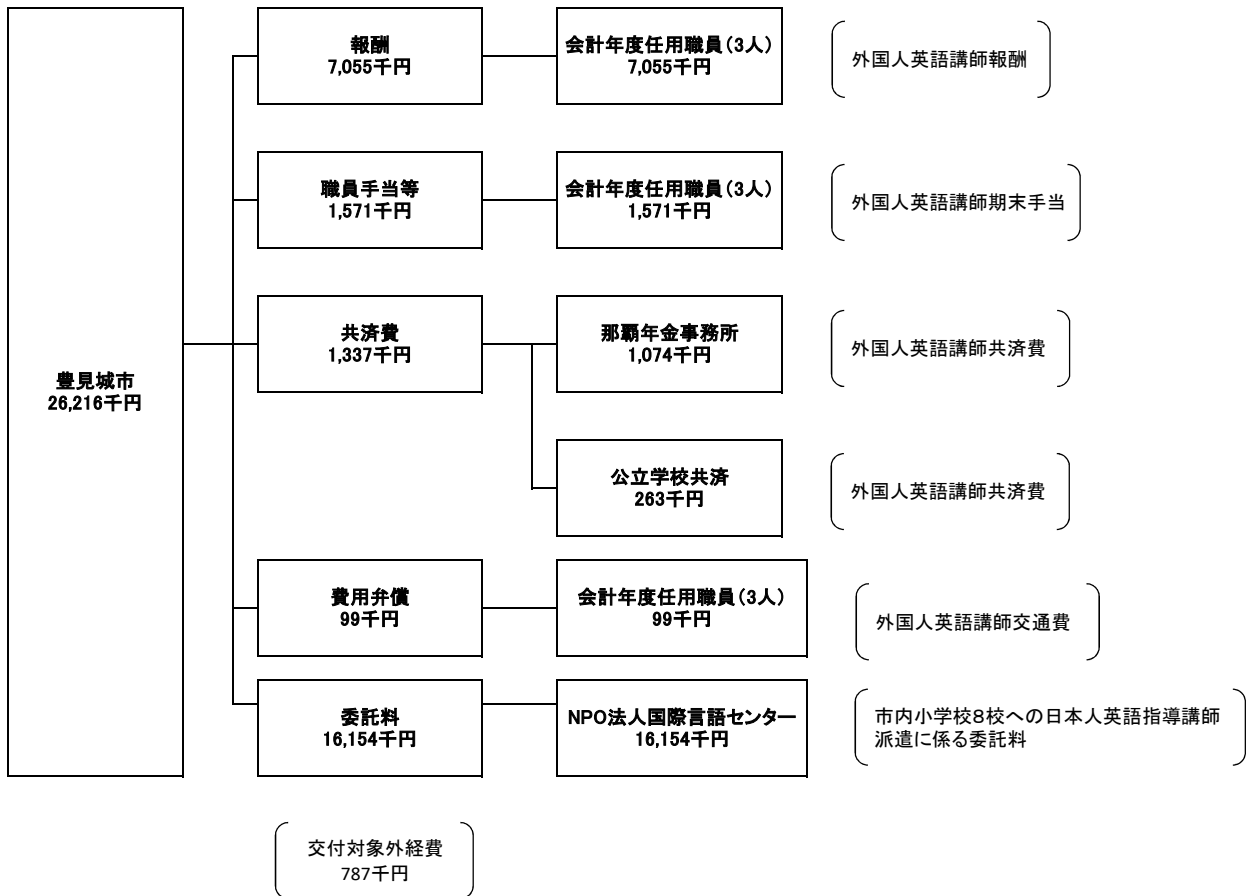
**今後の取り組み方針**

小学生  
教科化を受けて担任教諭との連携がより必要となることから、令和5年度は教育委員会の直接雇用により切り替え、英語教育の推進を図る。

中学生  
これまでの県学力到達度調査を踏まえ、教育委員会と学校が連携し学力向上施策を進めるとともに、ALTと英語担当教諭とも情報共有を図りながら、英語学力の定着に向けて取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
27,003	26,216	20,973	5,243	787



資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国人英語講師の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)面接を行って採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○NPO法人国際言語センターへの委託については、プロポーザルにより事業者を選定しており、適正な規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託先はプロポーザルにより事業者を選定しており、賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。



市町村名		豊見城市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥ ICT教育推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(3)-イ		
	担当部署名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	Society5.0に対応する教育の推進		
事業内容		分かりやすい授業により教育の質の向上を図り児童生徒の学力向上、情報活用能力の向上を図るため学校にICT機器を整備するとともにICT機器を活用した授業を支援するために情報教育補助員を派遣する。					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	56,763	46,959	28,413	11,665	
		(b) 予算現額	78,067	32,039	24,652	28,976	
		(c) 増減額(b-a)	21,304	▲ 14,920	▲ 3,761	17,311	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)		78,067	32,039	24,652	28,976	
	B. 執行済額		76,239	28,321	20,399	26,896	
	うち交付金充当額		60,991	22,657	16,319	21,516	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		97.7%	88.4%	82.7%	92.8%	
予算の状況の説明		情報補助員について、計画どおりの配置ができなかったことによる報酬等の減額及び教師用タブレットPC・電子黒板等のICT機器の整備により、予算を17,311千円増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	情報教育指導補助員派遣数:5人	目標	( 3人 )	( 3人 )	( 11人 )	( 5人 )	
		実績	2人	3人	8人	5人	
	児童生徒学習用端末整備:213台	目標	( )	( )	( )	( 213台 )	
		実績				213台	
	電子黒板&教師用端末整備:各5台	目標	( 電子黒板8台 )	( 電子黒板15台 )	( 電子黒板8台 教師用端末12台 )	( 各5台 )	
		実績	電子黒板8台	電子黒板15台	電子黒板8台 教師用端末12台	各6台	
	学習用端末充電保管庫整備:4台	目標	( )	( )	( )	( 4台 )	
		実績				0台	
達成状況説明	<p>情報教育補助員については、延べ人数5人体制で小中学校への支援を行った。  学習用端末(生徒用):213台、電子黒板(タブレット端末込み):6台について、整備を行った。(指名競争入札)  電子黒板(タブレット端末込み)については、当初の児童生徒数の推移により5学級増と想定していたが、最終的に1学級増となったため、小中学校に対し予算の範囲内で6台整備することができた。(指名競争入札)  学習用端末充電保管庫は教室増のため4台を目標にしていたが、特別支援教室で少人数のため、学習用端末充電保管庫が必要なくなったこと等を理由に購入不要となったため実績は0台となった。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	教員にアンケート調査を実施し、情報教育補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
		実績		91.11%	93.91%	88.26%	
	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
実績			93.05%	88.68%	92.18%		

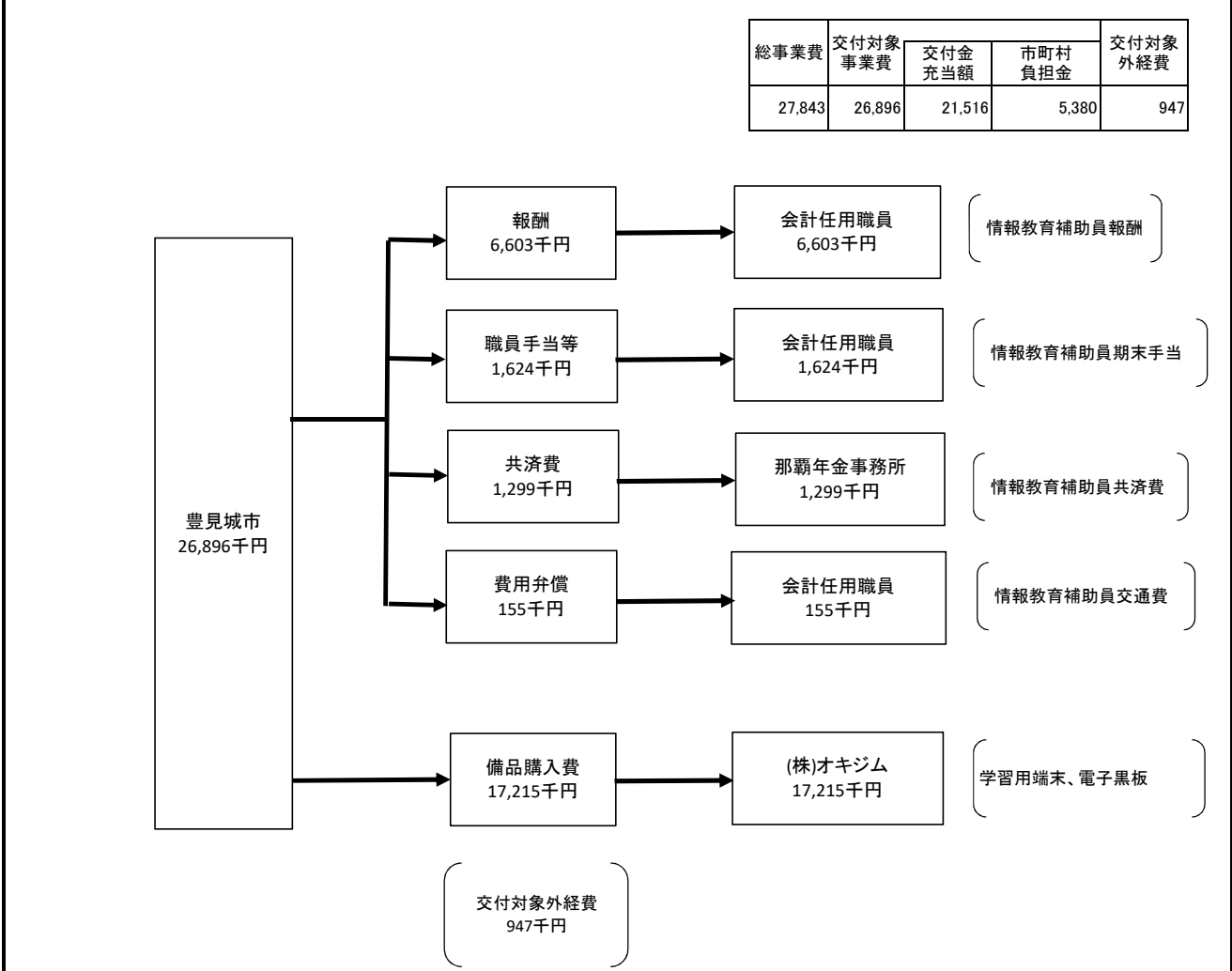
進捗状況説明	<p>教員へのアンケート結果 教員に対するアンケートを実施した結果、自身のICT機器の習熟度が上がったと答えた教員は88.26%となり目標達成となった。</p> <p>児童生徒へのアンケート結果 児童生徒に対するアンケート結果は、小学校で880人にアンケート調査を実施した結果、93.18%の児童がICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた。中学校では284人中、89.08%の生徒がICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた。</p>
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R4年度は教員のICT機器の習熟度はあがったと回答した教員は、88.26%と目標値である80%は超えているが、R3年度よりも下がっている。しかしながら、小中学校のアンケート結果で、ICT機器を活用した授業がわかりやすかったと回答した児童は92.18%とR3年度と比べると上がっている。これは教員がICT機器を利用した授業をさらに充実したいと考えているが、応用操作などがまだ習得できていないため、このような結果となったと思われる。そのため、今後も、教員のスキルアップが図れるよう、研修会の実施や各学校での情報教育指導補助員のサポートが必要と思われる。	今後は、教員のスキルの維持・向上及びサポートを引き続き行うほか、児童生徒に対しても操作支援を行うことで、学習用端末の基本操作の習熟を図り、今後はそれを基にしたインターネット検索等で正確性、信頼性のある情報を見極めて活用するITリテラシーの向上を図る必要がある。

**今後の取り組み方針**

学習用端末や電子黒板等の充実及び維持更新を行うとともに、教員へICTを利用した授業では不可欠な内容であるITリテラシー向上に向けた研修会等を実施する。また、児童生徒に対しても、今後も学習用端末の操作支援を行い、ITリテラシーの理解を深め、正確性、信頼性のある情報を活用し、情報社会に対応できる人材の育成を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○情報教育指導補助員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○備品購入は指名競争入札により適正に選定している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○備品購入先は指名競争入札により選定しており、賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、事業目的達成のために必要であった。

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	県外で開催される部活動における大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒に対し、派遣費の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,520	4,480	2,520	2,520	2,520
			2,520	5,276	0	324	298
			0	796	▲ 2,520	▲ 2,196	▲ 2,222
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	2,078	4,891	0	324	297
		うち交付金充当額	1,662	2,345	0	259	237
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	82.5%	92.7%	0.0%	100.0%	99.7%
		予算の状況の説明	派遣対象の競技については、個人競技が主であったため、大幅に事業費減となった。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童生徒派遣費の一部を補助	目標	( 派遣費の一部補助 )	( 派遣費の一部補助 )	( 派遣費の一部補助 )	( 派遣費の一部補助 )	
		実績	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
	実績						
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により派遣対象となる大会の開催が減っているが、7件の競技大会にかかる派遣費を補助することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(                    )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(                    )
		実績		0%	100%	100%	
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
進捗状況説明	7件の競技大会にかかる派遣費補助を行い、派遣対象生徒に対し貴重な経験を得る機会に役立てることができた。対象児童の視野が広がったかについて、派遣対象児童にアンケートを実施したところ、「技術面に関する課題が見つかった」「精神面において、学ぶものがあつた」等に対し「はい」と100%の回答を得ることができた。						

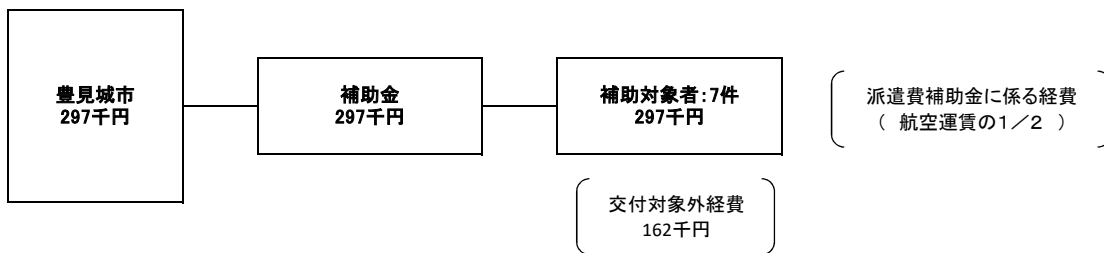
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響は収まりつつあるが、見込みより少ない児童生徒の派遣費補助となった。	学校や保護者に対し、令和5年度から離島で開催される大会も補助金の交付対象になることや外部指導員の渡航運賃の補助も開始されることを周知し、県外・離島で開催される大会及び合同練習に一人でも多く参加できるように派遣費を補助する。

**今後の取り組み方針**

令和5年度より、さらに多くの児童生徒の派遣大会参加の機会を確保するため、県外だけではなく離島で開催される大会も対象に含まれていることを周知するとともに、引率する外部指導員の渡航運賃の補助も行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
459	297	237	60	162



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助要綱に沿った事業執行であるため補助先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○派遣は予選大会の結果によるため派遣人数の見込みが難しく、派遣が予想される大会分の予算計上は必要であるため、予算規模は適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○交付要綱に基づいた支出となっているため、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○補助要綱に沿った支出であり費目・使途は適正である。

市町村名	豊見城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
担当部署名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	スポーツ及び文化活動において優秀な成績を収めた児童生徒に対して、県外大会へ出場する際に必要な派遣費補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,320	5,400	5,400	5,400	5,400
			4,320	6,542	1,440	3,240	6,649
			0	1,142	▲ 3,960	▲ 2,160	1,249
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	4,320	6,542	1,440	3,240	6,649
		うち交付金充当額	3,135	4,811	372	2,028	4,754
		次年度繰越額	2,508	3,848	297	1,622	3,803
		執行率(%) (B/A)	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	72.6%	73.5%	25.8%	62.6%	71.5%
	予算の状況の説明	当初の見込みを上回るペースで申請があったため、12月補正で1,249千円を増額した。年度末に行われる大会への申請が多かったことから、交付金対象事業費としては執行率がR1年度並みとなったが、対象外経費を含めるとR1年度比で執行額が増額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童生徒派遣費補助費の一部(航空運賃80%)を補助	目標	(派遣費の一部補助)	(派遣費の一部補助)	(派遣費の一部補助)	(派遣費の一部補助)	
		実績	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	新型コロナウイルスの影響によりR3年度まで件数が落ち込んでいたが、R4年度は市広報で周知を図り、補助件数・補助額ともに増加となる派遣費補助を行う事ができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		96.29%	98.68%	99.61%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績						
進捗状況説明	・県外派遣補助をおこなった児童生徒数は257人であった。新型コロナウイルスの影響が少なくなり、大会等が開催されるようになったことと、改めて周知に力を入れたため、コロナ以前の申請件数まで回復し、本市の人材育成や競技力向上に役立てることができた。 ・派遣補助児童生徒257人を対象にアンケートを実施したところ99.61%が、自己の課題抽出や県外選手から学ぶものがあり、自己成長につながったとの回答を得ることができた。(児童生徒の感想一例) ・県内にはいない、プレースタイルの相手と試合ができて学ぶことがたくさんあった。						

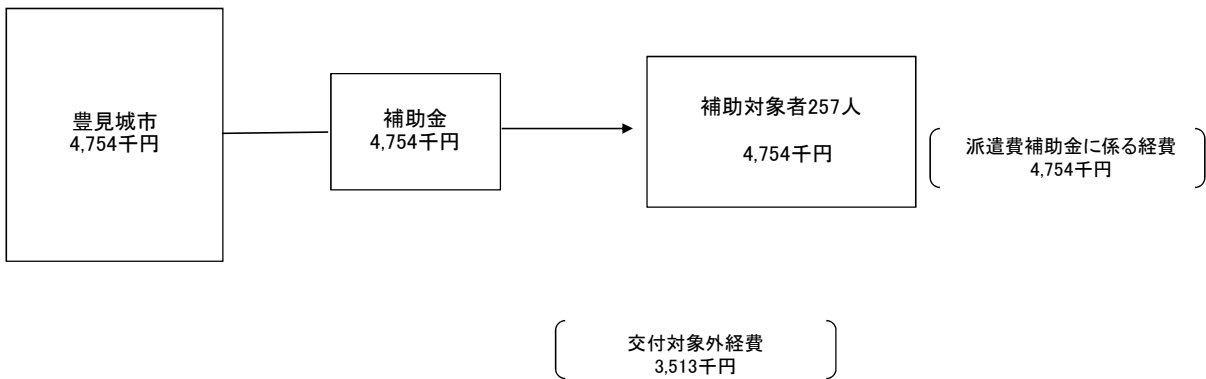
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響が少なくなり、各種大会等が開催されるようになったことで、レベルの高い上位大会から得られる経験が、児童生徒の競技力向上へとつながった。	県外大会派遣後のアンケートによると、派遣された児童生徒のほとんどが、課題の発見や自己の成長を実感しており、適切な事業の執行ができていることから、引き続き現行の方法で事業を継続していく。

**今後の取り組み方針**

R5年度以降は、児童生徒のみならず指導者の派遣費も補助対象とし、保護者等のさらなる経済的負担軽減をはかり、多くの児童生徒が公平な大会参加の機会を得られるよう、支援を行っていく。  
 また、引き続き広報誌やホームページによる周知や学校への案内、派遣がかかった大会主催者及び申請した保護者の方々にも、チーム内及び知人等への派遣費補助の情報共有をお願いしていきたい。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,267	4,754	3,803	951	3,513



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助(支出先)は交付要綱に沿って行っており、選定方法は適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○派遣は予選大会の結果によるため派遣人数の見込みが難しく、派遣が予想される大会分の予算計上は必要であるため、予算規模は適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○交付金での対象は、航空運賃1/2であり、それ以外については、市負担、保護者負担となっているため、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○補助は交付要綱に沿って行っており、費目・使途は適正である。

市町村名	豊見城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-⑨	青少年国際交流事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア			
担当部署名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	市内中学生に青少年リーダーとして国際的視野を広めさせ、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図る。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインコンテンツ等を活用した交流事業を実施することで、持続的なリーダーとしての資質向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,203	7,419			8,857
			7,203	7,419			777
			0	0			▲ 8,080
			0	0			0
			7,203	7,419			777
	B. 執行済額 うち交付金充当額		7,183	6,945			761
			5,746	5,556			609
			0	0			0
			99.7%	93.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	97.9%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2～3年度においては事業を中止したが、令和4年度においては、海外派遣からオンラインコンテンツを活用した交流事業へと変更を行い、事業を実施した。それに伴い、補正予算にて8,080千円減額した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	市内中学生20名を対象にハワイ州の青少年団体等とのオンライン交流を行う。	目標	(      )	(      )	(      )	( 20名 )	
		実績				15名	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
達成状況説明	・令和4年度においては、事業内容をオンライン交流へ変更し実施しており、活動目標も変更している。目標は20名の参加としていたが、団員応募者が15名だったため、目標を達成することはできなかったが、1応募者全員が事業に参加することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	事業実施後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		-	-	67%	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	・団員に対するアンケートを実施した結果、「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」の質問に対し、「思う」が67%、「今はまだわからない」26%、「思わない」7%だった。 ・令和4年度は、成果目標値の80%を達成できなかったが、平成30年度(58%)、令和元年(67%)、令和2、3年度(中止)より増加しているため一定の成果は得られたと考える。						

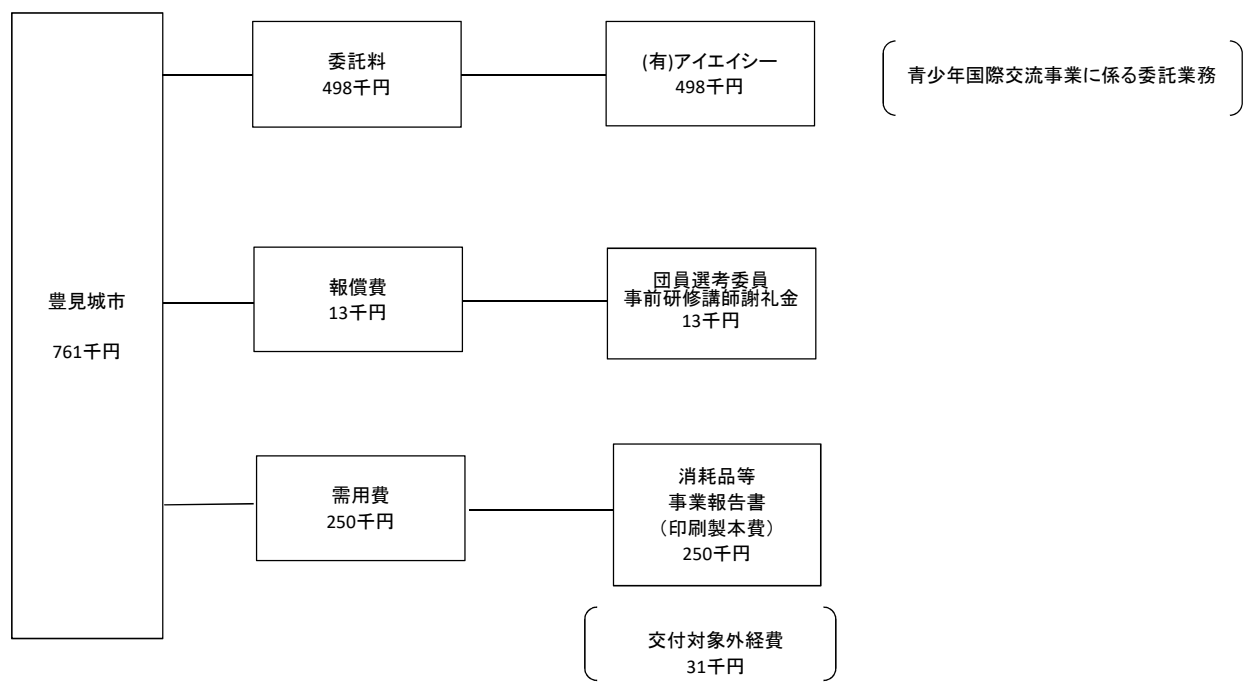
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加団員は語学や国際交流に興味がありプログラムに参加しており、アンケートの結果も約7割は「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答しているが、「今はまだわからない」が26%(4名)となっているため目標が達成できなかった。</li> <li>事業に参加した生徒やその親族が報告会に参加するなど交流事業の有効性を発信することにより、国際交流事業に興味・関心がある生徒が増加している。</li> <li>一方で、オンライン交流をしたり、実際に海外に行くと、自らの地域(沖縄県・豊見城市)の文化、歴史、産業のことを十分に知っていないということを実感し、交流(帰国)後、海外での経験や報告会等を通して自らの地域を知ろうという意識が広まりつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの交流であったため、これまでの渡航先で行う対面研修と比べて、団員にとっては国際交流のイメージが湧かない状況だったと考えられる。今後は、団員が国際交流を肌で実感できるような様々な体験プログラムを企画していく必要がある。</li> <li>国際交流においてコミュニケーション能力を高めるために語学(英語)能力も一つの重要な要素ではあるが、それと同時に地元地域の文化、歴史、産業等を通して育つ自らのアイデンティティを高めていくことが重要な課題であり、派遣団員の選考方法や海外派遣の事前研修において課題に取り組む必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 訪問先での現地研修では、教育・文化・産業施設等の参観及び体験学習やホームステイを実施し、村人会(県人会)や現地学生等との交流機会を増やすとともに、生徒の意欲を高めるプログラムを検討する。
- 派遣団員選考試験に、英語試験(リスニング・筆記)及び作文等(志望動機・将来生かしたいこと)を取り入れるほか、「地元地域の文化、歴史、産業等」に係る選考テーマを採用できるか検討する。
- 団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業等を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラムを検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
792	761	609	152	31



資金の流れ・費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ・費目・点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号を根拠に随意契約によることができる契約金額となっており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○オンライン交流へ変更したため、受益者負担となる参加料等は徴収していない。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業を執行するうえで不可欠なものであり、目的に即し必要なものであったと判断した。



市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑩	お仕事体験事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-ウ		
担当部署名	総務企画部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の活躍促進		
事業内容	豊見城市内の小中学生に様々な職業を疑似体験させる事により、早期からの就労に対する意識付けや、将来の職業観を育むことを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,854	2,000			2,000
		(b) 予算現額	1,854	2,000			2,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0			0
		(d) 繰越額	0	0			0
	A. 計(b+d)		1,854	2,000			2,000
	B. 執行済額		1,854	2,000			1,869
	うち交付金充当額		1,483	1,599			1,495
	次年度繰越額		0	0			0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	93.5%
予算の状況の説明		当初事業計画のとおり執行することができた。 不用額の主な理由としては、実績による委託料の執行残である。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	年1回の事業実施	目標	( 年1回 )	(    )	(    )	( 年1回 )	
		実績	年1回			年1回	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	
実績							
達成状況説明	令和5年1月15日(日)に豊見城市民体育館の屋内、屋外へスペースを設置して事業実施。 体験できる事業所数は19、来場者数は児童とその保護者を含め総合計で881名となり、児童1人あたり平均5回のお仕事体験を行うことができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(    )			( 80% )	(    )
		実績				99%	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	満足度について、子供用、保護者用、出展者用の3種類のアンケートを実施した。 児童生徒については、お仕事体験の内容について「参加して良かった」の回答が99%となり、夢や希望を持ちつつ、就業意識を向上させることにつながった。						

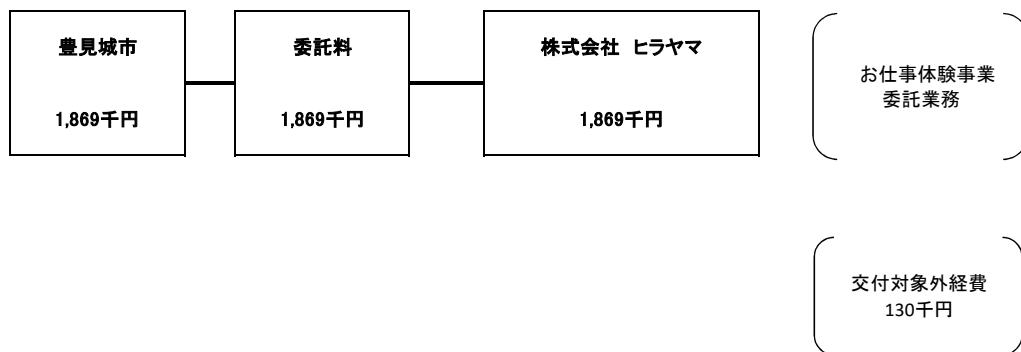
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ネットでの事前予約制としたため混雑緩和につながったが、各時間帯での順番予約制としたため先着順となり、希望のお仕事を体験できなかったという意見がみられた。</p>	<p>・できる限り希望の体験ができるよう、体験数や体験内容の充実、予約方法などの改良等を検討する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

受託事業者との連携を密に取り、過年度実施時の児童や保護者、出展事業者の意見を参考に課題を確認し、改善を図ることで更なる満足度と有益性の向上につながるよう取り組みを行う。体験ブースについては出展数を原則30体験以上とし、出展内容についても様々な種類の体験内容となるようにする。予約方法については完全予約制ができないか検証し、参加者が希望した内容が確実に体験できるような予約フォームの作成について検討を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,999	1,869	1,495	374	130



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は、事業者からの見積りを参考に積算を行っており、適正なものである。</p> <p>○費目・使途については、実績報告等をもとに確認しており、目的に即し、必要なものであると判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	デジタル博物館事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	令和2~令和11年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報(文化財、博物館資料、写真資料、口承文芸資料等)に常時アクセスできる環境を整え各種webページで公開し、市民・学校・観光客等に豊見城市の魅力を発信するとともに地域文化の振興に寄与する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(令和 年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,994	47,185	68,920		
		(b) 予算現額	31,994	47,185	67,960		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲960		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	31,994	47,185	67,960		
	B. 執行済額		31,657	46,834	67,858		
	うち交付金充当額		25,325	37,467	54,286		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		98.9%	99.3%	99.8%		
予算の状況の説明		適正な積算と計画の結果、事業計画通りに執行を行えた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	R2・R3 収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業	目標	( 100,000点 )	( 100,000点 )	( )	( )	
		実績	100,000点	100,000点			
	R2・R3 収蔵品写真撮影	目標	( 1,050点 )	( 4,050点 )	( )	( )	
		実績	1,050点	4,050点			
	R3 民話資料データ化	目標	( )	( 650話 )	( )	( )	
		実績		658話			
	R4 歴史資料の電子化	目標	( )	( )	( 80,000点 )	( )	
		実績			111,438点		
R4 電子情報連携発信	目標	( )	( )	( 1,025件 )	( )		
	実績			1,025件			
R4 電子地図系コンテンツ作成	目標	( )	( )	( 4件 )	( )		
	実績			7件			
地域資料収集作業	目標	( 7地域 )	( 8地域 )	( 5地域 )	( )		
	実績	7地域	8地域	5地域			
達成状況説明	歴史資料の電子化は、戦後の文書資料と写真資料を約11万点の電子化とデータベース作成した。電子情報連携は、文化財標柱のQRコード設置と市史資料と無形民俗文化財の情報連携を1,025件完了した。地域資料収集作業は、地域の自治会と協働の上で収集作業にあたり、自治会や個人提供の写真と情報を集約した。電子地図系コンテンツは基盤マップ3件、集落復元2件、史跡復元2件の計7件完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(R4年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
	R2・R3 収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業の完了	目標	( )	( 100,000点 )	( 100,000点 )	( )	( )
		実績		100,000点	100,000点		
	R2・R3 収蔵品写真撮影の完了	目標	( )	( 1,050点 )	( 4,050点 )	( )	( )
		実績		1,050点	4,050点		
	R3 民話資料データ化の完了	目標	( )	( )	( 650話 )	( )	( )
		実績			658話		
	R2・R3 地域資料収集作業の完了	目標	( )	( 7地域 )	( 8地域 )	( )	( )
		実績		7地域	8地域		
	R4 地域資料共有報告書発行	目標	( )	( )	( )	( 5種類 )	( )
実績					5種類		
R3 ホームページの公開 R4 webサイトアクセス数	目標	( )	( )	( 公開 )	( 60,000回/年 )	( )	
	実績			公開	64,137回/年		
進捗状況説明	地域資料共有報告書については、地域と協議の上実行し、計画通り5種類の発刊を達成した。ホームページの公開については、ポータルサイトの「とみぐすくデジタルアーカイブ」は市全体webページ入れ替えで停止期間もあったが、個別のコンテンツサイトは継続してそれぞれ稼働し着実にアクセス数が推移し、目標値を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・3D復元した資料の公開イベントである講演会を開催したが、感染症対策など様々な検討と対応が必要であった。	・イベント開催の周知とともに対策内容の周知と会場収容人数の大きい会場使用などの対策が必要である。
	・集落復元の聞き取り調査や写真情報の聞き取り調査など、調査相手は高齢者を中心であるため、十分に感染症対策を講じた上で事業を進める必要がある。	・感染症対策はその都度最新の情報を根拠に十分な方法で対策を講じる。
	・webページについて、市全体のホームページと一体で運用し、公開に努めていたが、令和4年度のリニューアルが入り管理事業者もシステムも変更となった。しかし、YouTubeやGoogleマイマップ、スケッチファブ等外部サービスは継続して運用できたため、アクセス数は目標を達成できた。	・ポータルサイトの更新頻度の向上とコンテンツ量の増加などの更新作業を十分に行い、リピーターを増やす運営を心掛け、事業効果増大を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策の目途が付いてきたため適切な対応をしつつ、事業効果がより高い大人数が収容可能な開催方法や広報活動、また参加人数の多い調査の実施を図る。</li> <li>・ホームページを中心にコンテンツの公開活動に取り組み、効果的な公開・広報活動を行っていく。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67,858</td> <td>67,858</td> <td>54,286</td> <td>13,572</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	67,858	67,858	54,286	13,572	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
67,858	67,858	54,286	13,572	0										
豊見城市 67,858千円	報酬 8,838千円	会計年度任用職員 8,838千円	〔学芸員4名 報酬〕											
	職員手当等 1,843千円	会計年度任用職員 1,843千円	〔学芸員4名 職員手当等〕											
	共済費 1,569千円	那覇年金事務所 1,296千円	〔学芸員4名 共済費〕											
		沖縄県市町村職員共済組合 273千円												
	費用弁償 361千円	会計年度任用職員 361千円	〔学芸員4名 費用弁償〕											
	委託料 55,247千円	株式会社Nansei 34,347千円	〔資料のデジタル化、地域資料調査等に係る委託業務〕											
株式会社パスコ沖縄支店 20,900千円		〔デジタルマップ・文化財3D化に係る委託業務〕												
資金の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式によって適切に選定している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、適切に予算を設定している。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算の費目・用途については、事業に必要最低限に設定し、執行している。委託業務完了段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	豊見城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-②	歴史・文化企画展開催事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(ア)		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	沖縄戦の終結から米軍による統治、本土復帰～現在までの歴史を中心とした企画展を開催し、市民や観光客等に豊見城市の歴史・文化に理解・関心・興味を深めてもらうを目的とする。企画展を観覧する機会を増やすため市内施設での巡回展を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,646				
		(b) 予算現額	1,646				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)		1,646				
	B. 執行済額		1,645				
	うち交付金充当額		1,316				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初予算どおりに執行することができた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	企画展の開催:2回	目標	( 2回 )	(      )	(      )	(      )	
		実績	2回				
	巡回展の開催:市内5施設	目標	( 5施設 )	(      )	(      )	(      )	
		実績	4施設				
達成状況説明	・当初予定どおりに、企画展を2回(8月、11月開催)することができた。 ・巡回展の開催については、市内5施設での開催を予定していたが、市立中央公民館で多数の来場者が見込めることから、同施設で巡回展を2回開催する運びとなり、結果、市内4施設、計5回の開催となった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	企画展1回あたりの来場者数	目標	(      )	( 683人 )	(      )	(      )	(      )
		実績		253.5人			
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	・企画展1回あたりの来場者数が平均で253.5人となり、目標値を大きく下回ることとなりました。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>&lt;企画展1回あたりの来場者数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に届かなかった要因として、開催期間となった8月に新型コロナウイルス感染症が再拡大したことが考えられる。</li> <li>・自治会公民館やイベント会場、観光情報センターで開催した巡回展には、企画展開催中の一日あたりの来場者数を上回る方々が展示を鑑賞されていた。</li> </ul>	<p>&lt;企画展1回あたりの来場者数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民はもとより観光客等へも、企画展の開催場所となる豊見城市歴史民俗資料展示室の認知度の向上を図るなど、情報発信を強化し、来室者の増加につなげる。</li> </ul>

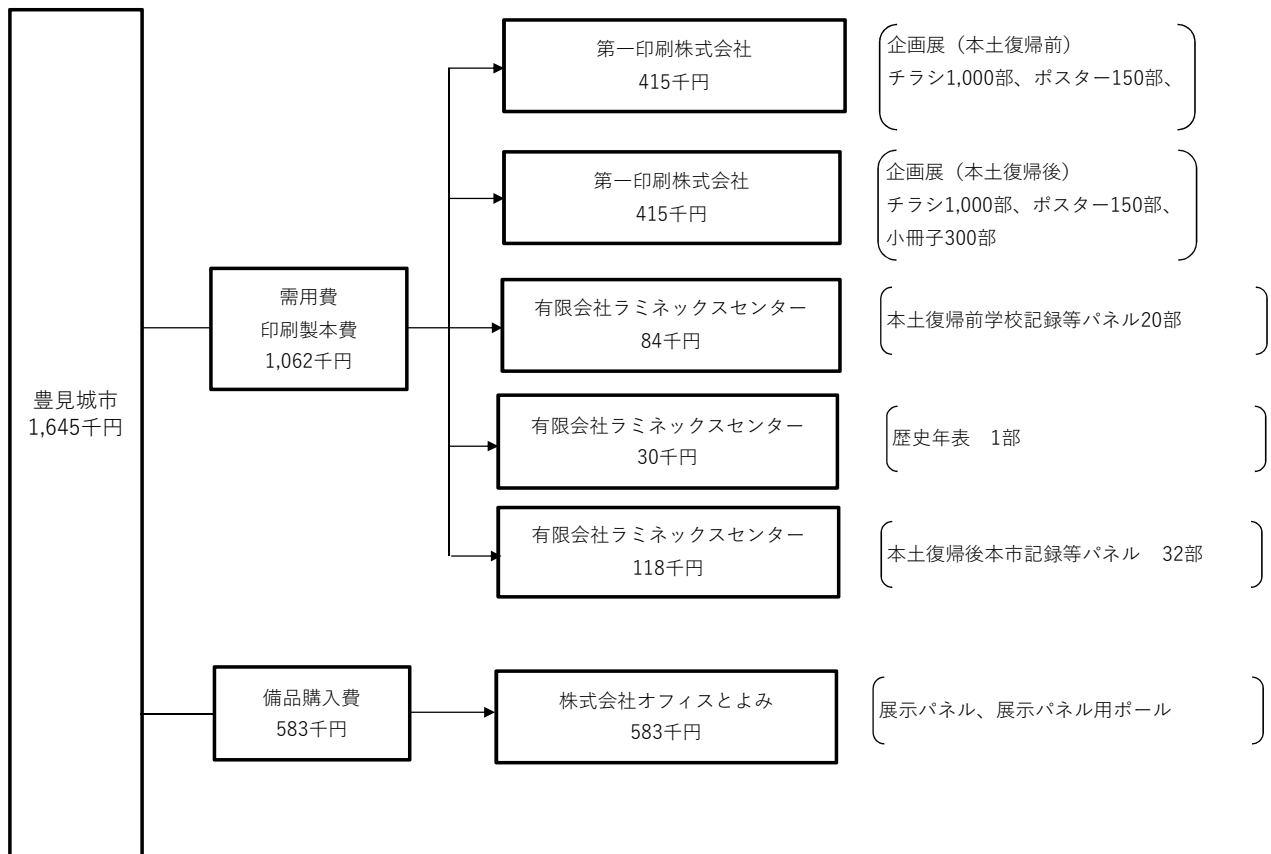
**今後の取り組み方針**

<企画展1回あたりの来場者数>

- ・市民や観光客等が、豊見城市の歴史・文化への理解・関心を深めるために、豊見城市の歴史・文化を題材とした多様な内容の企画展開催に取り組む。
- また、情報発信として引き続き市内自治会施設や、イベント会場、観光情報センターでの巡回展も開催する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,645	1,645	1,316	329	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積書を徴収し、最低額を提出した事業者に発注しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業者からの見積りから積算しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業の目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-③	組踊学校鑑賞事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	国の無形文化財、ユネスコの無形文化遺産として登録された組踊について、伝統芸能の普及や継承を目的に、市内小学校で上演する。芸術性と歴史的価値が高く評価されている「組踊」の継承に鑑賞することで郷土文化への誇りと愛着を深めさせ郷土の歴史や文化への理解と関心を醸成させる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額	A. 計 (b+d)	1,920				
		B. 執行済額	1,869				
		うち交付金充当額	1,495				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)		97.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明		適正な積算と計画の結果、事業計画通りに執行することができた。				
	<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況			
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		組踊鑑賞会の実施:4校		目標 ( 4校 )	( )	( )	( )
		実績 4校					
		目標 ( )	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明	当初予定通りに、4小学校での組踊鑑賞会を開催することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	市内4小学校の対象児童数 延べ835名(高学年対象)		目標 ( )	( 835名 )	( )	( )	( )
			実績	740名			
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の蔓延を考慮し、鑑賞児童の人数や方法を各学校の意向を基に調整し実施した。一部の児童は鑑賞を控えたことや欠席等もあったため、目標値835名(100%)のうち、740名(88.6%)が鑑賞に参加した。					

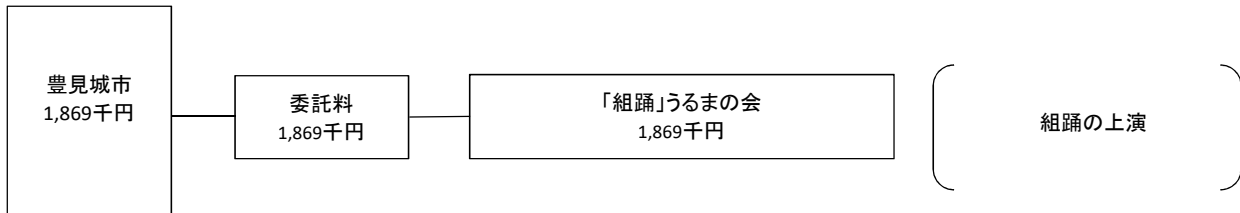
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初は4年生～6年生の全児童を鑑賞対象としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が危惧されたことで、各学校と実施方法について検討する必要性があり、全ての児童に鑑賞機会を設けることができなかった。	鑑賞機会の確保という観点では、映像を録画もしくは配信等で児童それぞれで視聴する方法も考えられる。 今後、新型コロナウイルス感染者も減少が見込まれ、開催する状況は改善していくものと考えられる。その際に、ワークショップで各楽器紹介とともに演奏体験等を追加することも検討していきたい。

**今後の取り組み方針**

アンケート調査で「組踊」に関しては知っているという回答が多いが、実際に鑑賞したことがないという回答が過半数以上であった。その為、沖縄伝統芸能の最高峰である「組踊」に実際に触れることで子供たちに郷土文化への誇りと愛着を深めさせ、郷土の歴史や文化への理解と関心を醸成させるためにも今後も開催していきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,869	1,869	1,495	374	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は随意契約によるものであるが、組踊の継承と普及を目的に児童等を対象とした鑑賞会を本市において平成26～29年度、令和2～4年度にかけて実施していることや、学校での上演活動に高い実績と経験のある団体に発注しており、適切な選定であったと思われる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○品目、使途については、完了後に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		豊見城市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	サッカーキャンプ誘致推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	令和1～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	サッカーキャンプ受入に必要な機械、芝生の維持管理委託やサッカーゴールの整備を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a) 当初予算額	11,330	14,740	14,740	14,190	
		(b) 予算現額	9,790	14,740	14,740	15,136	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,540	0	0	946	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	9,790	14,740	14,740	15,136	
		B. 執行済額	9,790	14,740	14,740	15,135	
		うち交付金充当額	7,832	11,792	11,792	12,108	
		次年度繰越額	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明		サッカーゴールの整備や委託先の専門業者による草種変更及び維持管理を適切に行うことで、継続的なサッカーキャンプの誘致につながり、予算内で事業を実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更	目標	芝生の維持管理及び草種変更	芝生の維持管理及び草種変更	芝生の維持管理及び草種変更	(      )	
		実績	芝生の維持管理及び草種変更実施	芝生の維持管理及び草種変更実施	芝生の維持管理及び草種変更実施		
	プロチームへの誘致活動	目標	(      )	(      )	プロチームの視察の受入実施	(      )	
		実績			プロチームの視察の受入未実施		
	環境整備のための要望調査	目標	(      )	(      )	チームの要望に応じた環境整備	(      )	
		実績			チームに要望を確認し、環境整備を行いキャンプ実施に繋げた。		
	県内の先進自治体視察及び情報収集	目標	(      )	(      )	県内担当者会議における情報収集	(      )	
		実績			県内担当者会議にて先進自治体の事例を確認する		
サッカーゴールの追加整備	目標	(      )	(      )	サッカーゴールの追加整備	(      )		
	実績			サッカーゴールの追加整備			
達成状況説明	<p>サッカーキャンプの受入に必要な芝生の草種変更を通常のサッカー利用と併せて実施しつつ、年間を通して維持管理を実施した。令和元年度から継続して受け入れているチームは、芝生の状態及び備品整備を称賛しており、継続利用の実現に寄与している。</p> <p>プロチームへの誘致活動及び環境整備のための要望調査について、本市施設にてキャンプを継続して実施しているチームにキャンプ環境に対する要望を確認し、備品等を整備することで継続した実施に繋がった。</p> <p>県内自治体の情報収集については、担当者会議にて各自自治体の取組みを確認し、キャンプ時に市のガイドブックを観客向けに配布して市のPRを行った。</p> <p>連続して本市施設にてキャンプを行うチームから以前から要望があったサッカーゴールの追加について、令和4年度に1対追加し、サッカーキャンプ利用の安定化を図った。</p>						
R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	

<b>成果目標 (指標) 及び進捗状況</b>	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	目 標	(       )	(   2件   )	(   2件   )	(   2件   )	(       )
		実 績	/	2件	2件	1件	/
		目 標	(       )	(       )	(       )	(       )	(       )
		実 績	/				/
進 捗 状 況 説 明	<p>サッカーキャンプの受入れに必要な芝生の草種変更及びサッカーゴールの追加整備を実施し、令和5年2月に1件のプロサッカーチームの受入れにつながったが、目標値である2件には届かなかった。</p>						

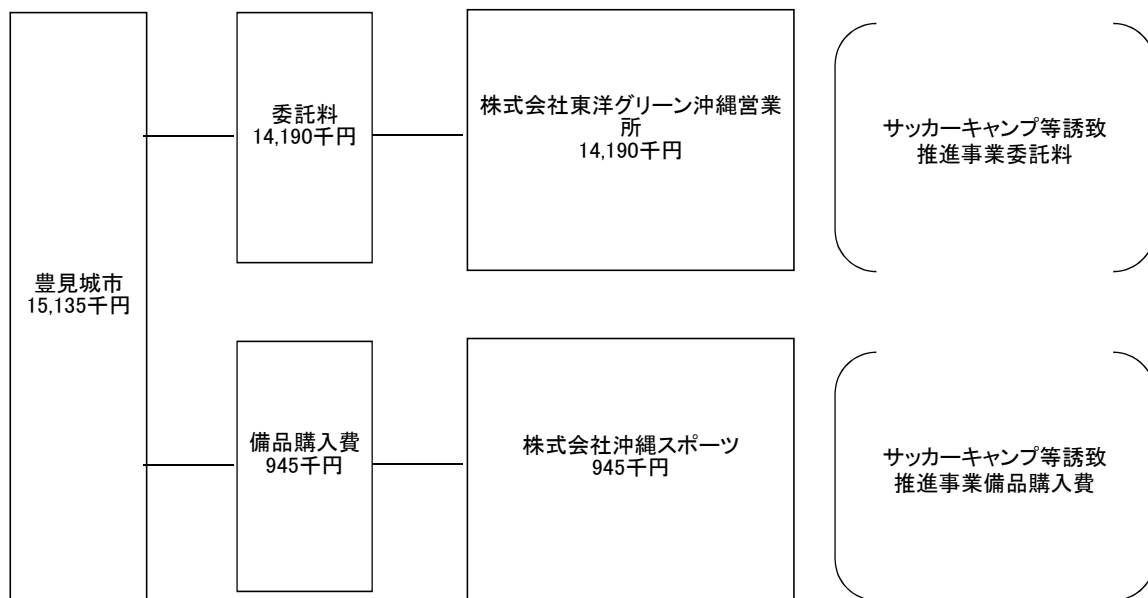
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(成果目標が達成できなかった要因) ・受入に向けて調整していたチームが沖縄県の新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、直前にキャンセルとなったことから沖縄県全体へのキャンプ誘致数が減少した (キャンプ受入の定着化) ・今後キャンプ受入実施の実現及び、継続的なクラブチームとの受入関係の構築のために市民との交流等、より地域に密着した関係の構築が課題となっている。  (新規クラブチームのキャンプ誘致) ・新規クラブチームを誘致し、継続的な利用の実現が課題である。	(成果目標が達成できなかった要因に対する改善) ・感染症拡大が生じた場合にもキャンプを実施できるよう対策を講じる。  (キャンプ受入の定着化) ・今後キャンプ受入実施の実現及び継続的なクラブチームとの受入関係の構築のために市民との交流や合宿受入の際の周知を図り機運を高めるとともに、受入チームの要望等を実現し、継続的な受け入れにつなげる。  (新規クラブチームのキャンプ誘致) ・施設のPRを行い、新規クラブチームのキャンプ誘致につなげる。

**今後の取り組み方針**

- ・感染症拡大が生じた場合は、施設の消毒を行い、感染対策を講じるほか、チームとチーム以外の施設利用者が接触しないよう動線を確保することで、受入チームが安心してキャンプを実施できるような環境を整える。
- ・持続可能なサッカーキャンプ受入に向けて、受入可能な芝生への草種変更を行える専門的な知識と技術を持つ業者を選定するとともに、サッカーキャンプ受入の際に市内スポーツ少年団とクラブチームとの交流を検討する。
- ・受入クラブチーム情報を市HPで積極的に発信し、市民の受入機運を高め、継続的な受け入れ体制につなげる。
- ・夏場のオフシーズンの利用についても、Jリーグキャンプの受入実績をPRすることで、域外のクラブチーム受入につなげる。
- ・キャンプ期間前に施設のPRを行い、新規クラブチームのキャンプ誘致につなげる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,135	15,135	12,108	3,027	0



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○芝生の変更という特殊な作業に対して専門的な知識と技術が必要とすることから地方自治法施行令167条の2の1項第2号より随意契約にて実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託費の費目、用途については検査を実施し、合格を受けていることから事業目的に必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

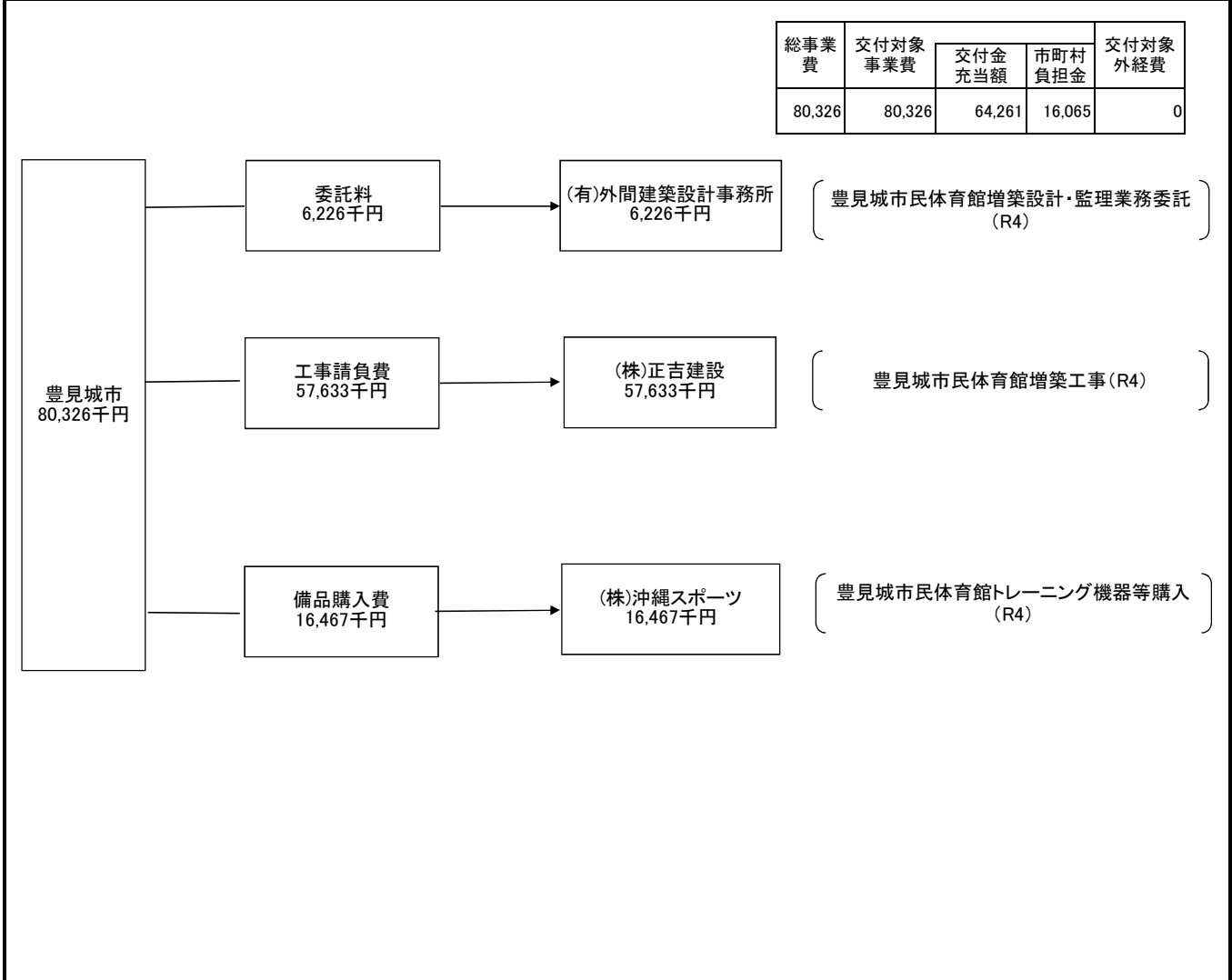
市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	豊見城市民体育館機能強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-(ア)		
担当部署名	経済建設部 公園緑地課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設など、施設の機能強化及びトレーニング器具の購入を行い、ナショナルチームレベルの合宿や公式の国際試合開催など、スポーツコンベンションの誘致を促進し、観光振興を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	65,790				
		(b)予算現額	80,328				
		(c)増減額(b-a)	14,538				
		(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)		80,328				
	B.執行済額		80,326				
	うち交付金充当額		64,261				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		令和4年5月下旬より建築設計業務を進めており、あらためて工事費を積算(精査)したところ、工事費に不足が生じたので必要となる費用を9月補正で増額を行い、執行残について3月補正で減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の実施	目標	設計・監理業務、増改修工事、備品購入の実施	( )	( )	( )	( )
		実績	設計・監理業務、増改修工事、備品購入の完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設などの施設機能強化及びトレーニング器具の購入を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R5年度)
	設計・監理業務、増改修工事、備品購入の完了	目標	( )	(完了)	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R5以降の成果目標】 スポーツコンベンション誘致件数:3件/年	目標	( )	( )	( )	( )	(3件)
		実績					
	進捗状況説明	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設などの施設機能強化及びトレーニング器具の購入を完了させた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和5年3月に完了した施設機能強化やトレーニング器具等の充実について周知していくことが課題となっている。</p>	<p>・施設やトレーニング器具等の充実に関する情報発信を行い、スポーツコンベンション誘致に努める。</p>

**今後の取り組み方針**

・関係各課や指定管理者、スポーツ関連団体等と協力し、スポーツコンベンション誘致3件/年の達成に向けて取り組む。  
 ・現時点においてバレーボールのナショナルチーム等の合宿誘致しており、その他競技に関しても合宿誘致できるよう取り組む。

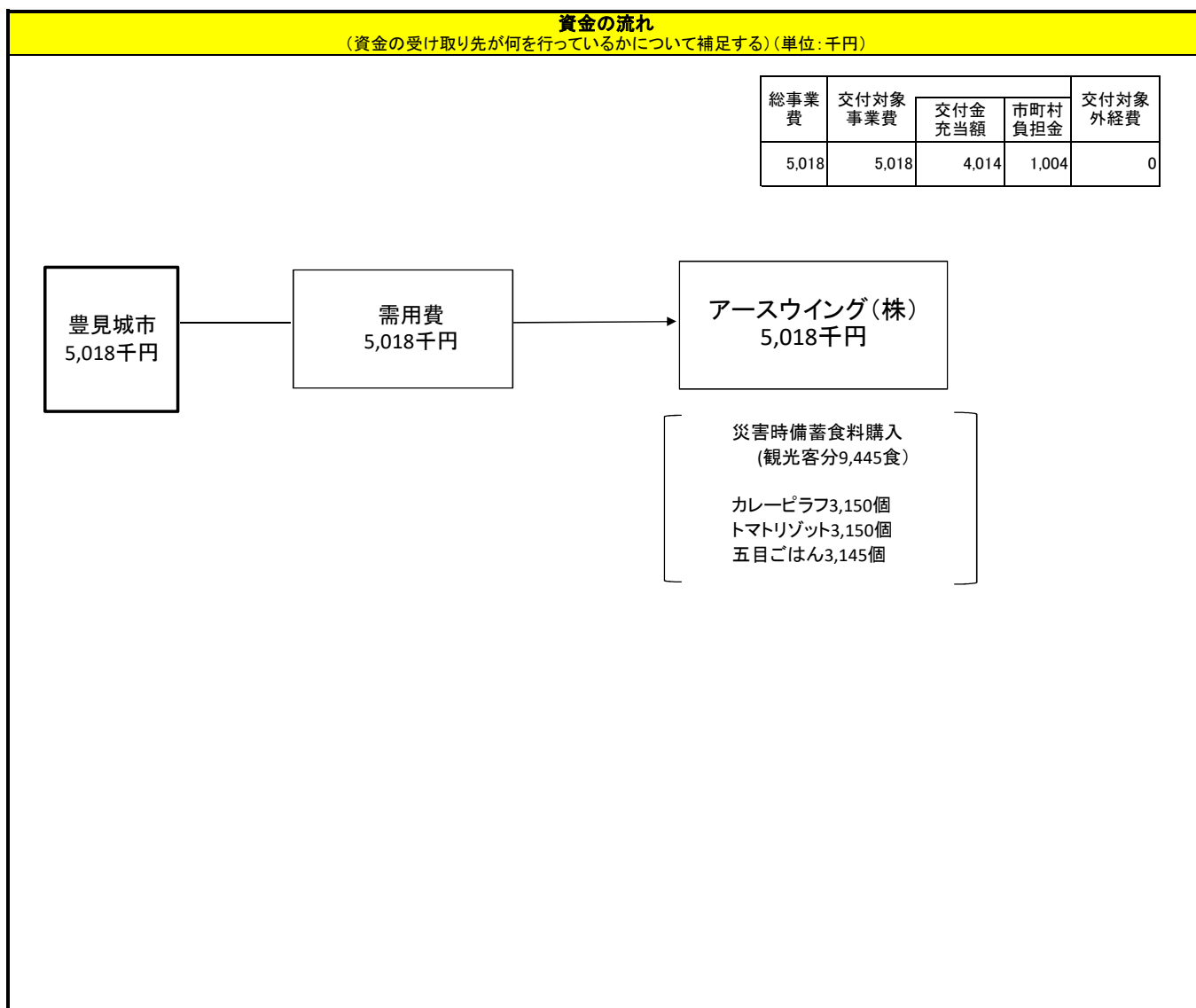
**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算は、設計業務等積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。 ○費目、用途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	自主防災組織・自治会防災対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア		
担当部署	総務企画部 総務課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	危機管理体制の強化		
事業内容	本市は県内有数の観光地域であることから、市民はもとより、市内を訪れる観光客に対する防災力の向上も図る必要がある。そのため、本年度においては、観光客分の備蓄食料の整備を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	5,611				
		(b) 予算現額	5,019				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 592	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)		5,019	0	0	0	0
	B. 執行済額		5,018				
	うち交付金充当額		4,014				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初事業計画どおりに予算を執行することができた。なお、残額592千円は入札残によるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	観光客分の備蓄食料 9,445食		目標 ( 9,445食 )	(      )	(      )	(      )	
			実績	9,445食			
			目標 (      )	(      )	(      )	(      )	
		実績					
達成状況説明	防災備蓄食料9,445食(カレーピラフ63箱(3,150食)、トマトリゾット63箱(3,150食)、五目ご飯62箱(3,145食)7年保存)の備蓄を完了した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(      )
	観光客避難者向けの備蓄(令和4年度備蓄食料 備蓄率100%)		目標	( 100% )	(      )	(      )	
			実績	100%			
			目標	(      )			(      )
			実績				
進捗状況説明	災害時に備え、市内を訪れる観光客分の備蓄食料(9,445食 7年保存)を整備したことで、目標値である備蓄率100%を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>成果目標である観光客分備蓄食料9,445食を備蓄し、食糧については備蓄率100%となっているが、子ども(乳幼児)と一緒に観光客等、様々なニーズに対応する必要があると予想される。</p>	<p>今後は、観光客子ども用品(粉ミルク、液体ミルク、乳幼児食、おむつ)等に対する備蓄にも取り組む必要がある。また、それらの支援が必要な方への周知と啓発も行う必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・乳幼児食など様々な食料ニーズへの備蓄食料の検討を行う。          ・災害対応(個人備蓄など)の重要性をHPや広報誌などを通じた周知・啓発の促進を図る。</p>		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は指名競争入札で選定しており、妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○備蓄食料購入数9,445食は、観光客の避難所生活3日分としており、その費目・用途が事業目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	